

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-3

<17・18週> 第17週までの動きで見ると、麻疹はほぼ横ばいとなっている / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.4

<麻疹> 第17週の報告患者総数は1,416、定点当たり報告数は0.47、第18週はそれぞれ947、0.32



病原体情報  
P.5

感染性胃腸炎 - ロタウイルスおよびSRSV検出報告 / インフルエンザウイルス分離・検出報告



速報  
P.6

麻疹ワクチン接種後15日目に分離された麻疹ウイルス:野生株かワクチン株かの遺伝子学的鑑別 - 広島県



海外感染症情報  
P.7

フィリピンで感染した狂犬病による死亡例 - 英国 / スペインへの学校旅行に関連したレジオネラ症



感染症の話  
P.8-11

C型肝炎  
米国でも約400万人のHCV感染者の存在が報告され、公衆衛生上極めて重要な病原ウイルスとなっている



読者のコーナー  
P.12-13

鶏卵アレルギーのある幼児への麻疹ワクチンの接種について



グラフ総覧(18週)  
P.14-20



17週のデータ  
P.21-28



18週のデータ  
P.29-36



# 発生動向総覧

第17・18週コメント 17週5月8日、18週5月10日集計分

第17・18週は連休の影響があり、2週合併号とする。全数報告の感染症については2週分の合計について述べ、定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)については、第17週、18週に分けてコメントする。

## 全数報告の感染症

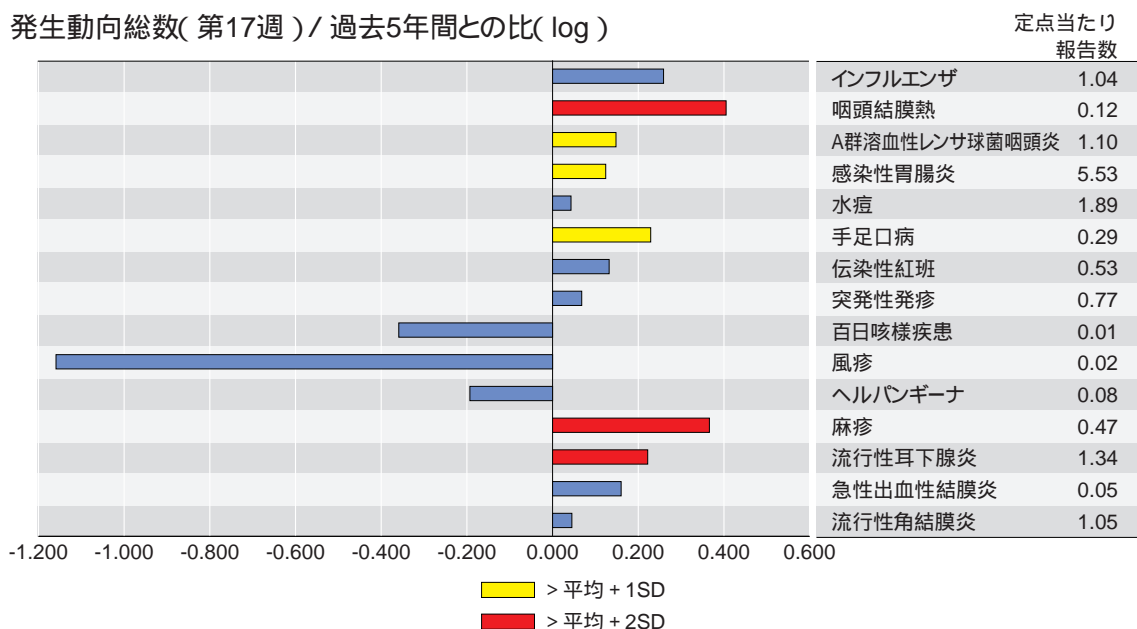
- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢20例(うち疑似症例1例、推定感染地: 国内1例、インド5例、フィリピン、インドネシア各3例、フランス領タヒチ2例、ベトナム、ブータン、中国・ネパール、パキスタン各1例、不明2例) 腸チフス5例(第17週の東京都3例は2例が重複していたため、実際には17・18週で4例。推定感染地: 国内1例、インド2例、インドネシア1例) パラチフス2例(推定感染地: インド、インド・ネパール各1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症38例
- 4類感染症: アメーバ赤痢2例、ジアルジア症3例、ツツガムシ病4例、破傷風2例、レジオネラ症1例、急性ウイルス性肝炎11例
  - A型7例
  - B型4例\_\_感染経路: 性行為1例、感染者血液との接触1例、不明2例
- 後天性免疫不全症候群13例( AIDS 5例、無症候性キャリア8例)
  - 感染経路: 不明2例、性行為11例(同性間4例、異性間7例)
- 梅毒6例(早期顕症3例、無症候3例) デング熱1例(推定感染地: タイ)
- マラリア2例 卵形マラリア1例\_\_推定感染地: ガボン  
型不明1例\_\_推定感染地: インドネシア

## 定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

[第17週] 麻疹は、過去5年の同時期と比較して定点当たり報告数がかかなり多くなっている(詳細は5ページ「注目すべき感染症」参照)。流行性耳下腺炎も例年と比較して定点当たり報告数がかかなり多い状態が持続しており、福井県で6.1、佐賀県で5.2の報告がある。感染性胃腸炎は石川県で定点当たり報告数21.1と多くなっている。咽頭結膜熱は依然例年になく定点当たり報告数が多い状態が持続している(15ページグラフ総覧、咽頭結膜熱参照)。

[第18週] 第18週は平日が2日のみで、咽頭結膜熱以外の疾患では報告数が前週より先極端に少なくなったものもあり、これらの疾患の時系列での評価は難しい。流行性角結膜炎は宮崎県で定点当たり4と報告数が多くなっている。

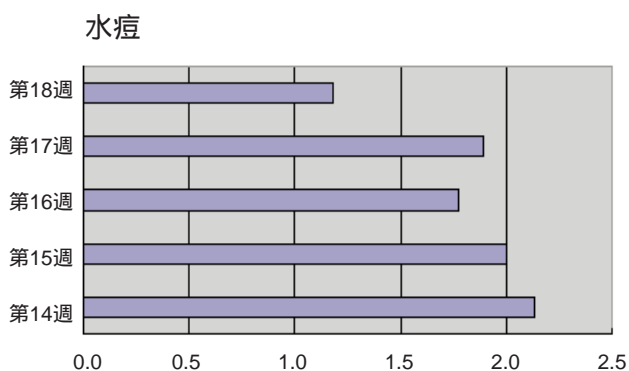
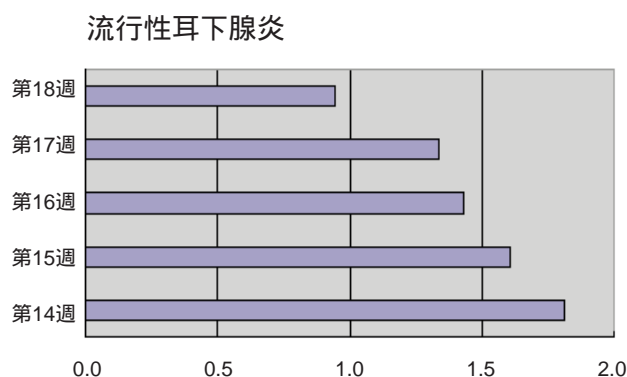
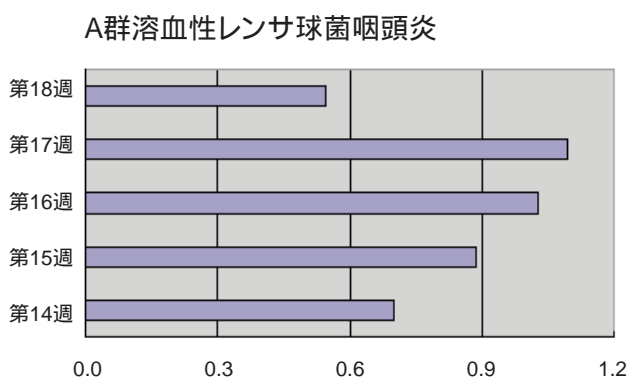
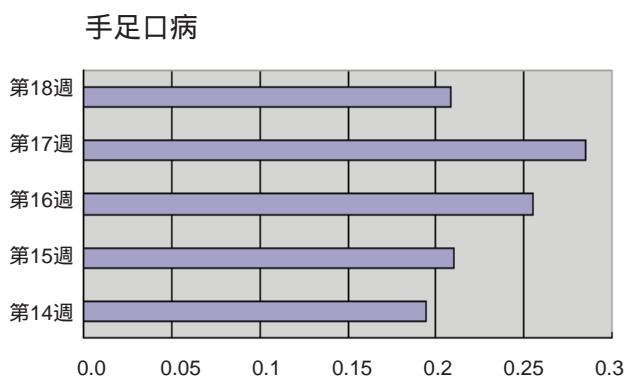
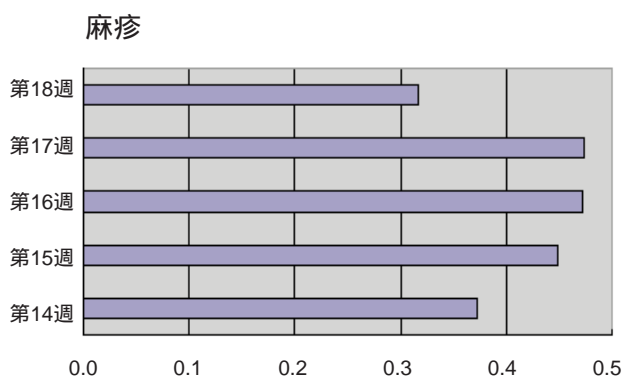
発生動向総数(第17週)/過去5年間との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

## 最近の注目疾患-5週間の動き

いずれの疾患も第18週は連休の影響で、定点当たり報告数は前週より少なくなっている。第17週までの動きで見ると、麻疹はほぼ横ばい、手足口病とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎は増加傾向、流行性耳下腺炎と水痘は減少傾向をみせている。



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



# 注目すべき感染症

## 麻疹流行状況

2001年は当初より高知県、奈良県、九州地方(下図参照)などで流行がみられ、3月に入って北海道でも患者数が急増し、過去5年間と比較して定点当たり報告数がかなり多い状態が続いている。

2001年第17週(4月23日～4月29日)の、全国定点医療機関からの麻疹報告患者総数は1,416、定点当たり報告数は0.47、第18週(4月30日～5月6日)はそれぞれ947、0.32であった。2001年第1週から第18週までの累積患者数は15,951、性別内訳は男8,646、女7,305とやや男性に多い。累積報告数の年齢階級別では1歳未満2,075(うち6カ月未満200)、1歳3,472、2歳1,667、3歳1,197、4歳1,026、5～9歳3,690、10～19歳2,520、20歳以上304となっている。1999年4月より施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下感染症法)」に基づく感染症発生動向調査では、小児科定点から報告される麻疹患者は18歳未満の小児であるが、小児科を受診する成人麻疹患者もあり、実際はこれらの症例が小児科定点を通じて報告されている。

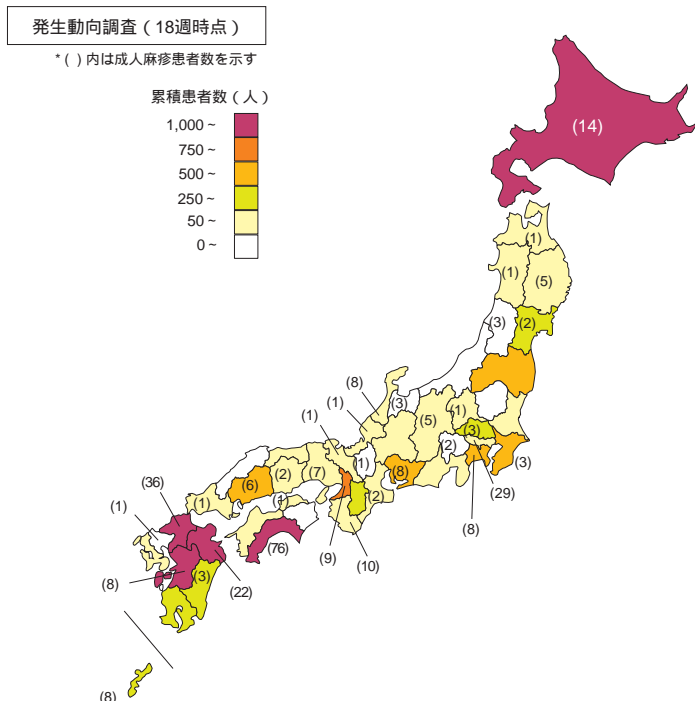
また、上記で報告される麻疹とは別に「成人麻疹(18歳以上)」という項目を設けてサーベイランスを行っているが、これらの症例は基幹病院定点からの報告であり、多くは入院を要するような比較的重症例であると考えられる。2001年第1四半期(第1週～第13週)の成人麻疹累積報告数は172で、昨年同期の33と比較して5倍以上も多くなっている。とくに感染リスクの高い未感染の医療従事者には、予防接種の徹底が強く推奨される。

麻疹に罹患した場合、肺炎や脳炎による合併症による小児の死亡率は高く、医療状況の良い先進国で0.1～0.5%、途上国では10%前後にのぼる。麻疹の患者発生ピークは4～5月であり、今後の疾患の動向に注意が必要である。

厚生労働省感染症発生動向調査警報・注意報発生システムによれば、第17週時点で、麻疹流行警報が北海道の9保健所、大分県の8保健所、大阪府、高知県、熊本県の7保健所など74の保健所で、注意報が大阪府と宮崎県の5保健所、埼玉県、京都府、鹿児島県の4保健所など75の保健所で発生している。

### <麻疹の予防について> (感染症情報センター長 岡部信彦)

麻疹に関しては、まさに予防に勝る治療はない。1歳を過ぎた子どもたちには、なるべく早いうちに定期接種としての麻疹ワクチン接種を行うことが麻疹対策上まず必要である。生後6カ月以降1歳前で感染の可能性がきわめて高い状況にあれば、任意接種として麻疹ワクチン接種が可能であるが、12～15カ月時に再接種を行う必要がある。1歳から7歳半(生後12～90カ月)までは定期接種の範囲内である。この年齢幅で接種をすませている子どもたちには、気がつき次第なるべく早くワクチン接種を済ませよう勧めていただきたい。7歳半を過ぎても、定期接種の年齢枠から外れるということを除けば、年齢を問わず任意接種として医学的には問題なくワクチン接種が可能である。感染歴、ワクチン歴が不明で、麻疹感染の可能性がある大人に対しても、あらかじめワクチンを接種しておくことが勧められる。仮に血清抗体の測定などをすることなく抗体陽性であった者にワクチン接種を行ったとしても、副反応等安全上の問題は特別なものはない。初回接種と同様の注意で十分である。





# 病原体情報

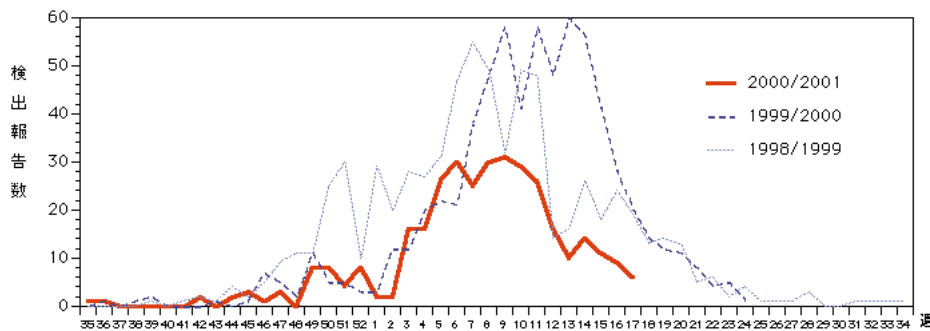
(2001年5月11日現在報告分)

\*グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。

## 感染性胃腸炎 2000/2001シーズン ロタウイルスおよびSRSV検出報告

今シーズンのロタウイルスの検出は341件、SRSVの検出は871件報告されている。最近では、ロタウイルスは第16週に新潟県4、新潟市1、大阪市1、奈良県1、香川県1、北九州市1、SRSVは第16週に愛媛県1が報告されている。SRSVは、過去2シーズンと同様に第50週のピークに加えて、第6週にも滋賀県などからの報告増加により2峰性のピークとなっている。

週別ロタウイルスの検出報告数、過去2シーズンとの比較(1998/1999、1999/2000、2000/2001)  
(病原微生物検出情報: 2001年5月11日現在報告数)

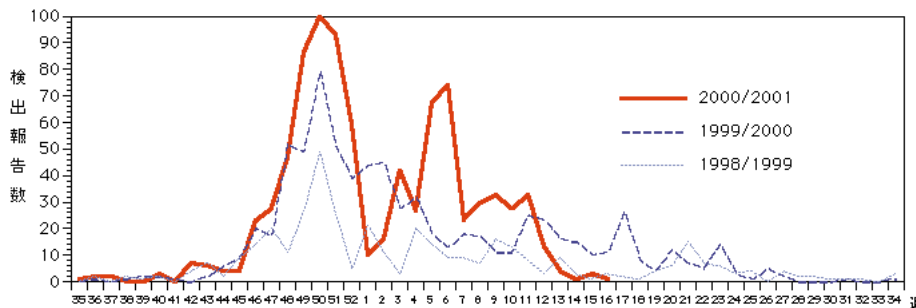


各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別SRSV検出報告数、過去2シーズンとの比較(1998/1999、1999/2000、2000/2001)  
(病原微生物検出情報: 2001年5月11日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



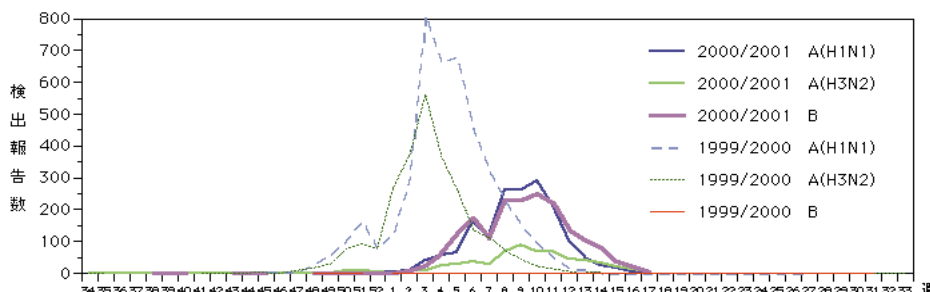
Infectious Agents Surveillance Report

## インフルエンザ 2000/2001シーズン

今シーズンの分離ウイルスは、A/ソ連(H1N1)型が1,676件、A/香港(H3N2)型が616件、B型が1,822件報告されている。昨シーズンはA/ソ連(H1N1)型とA/香港(H3N2)型がともに第3週をピークとして分離されたが、今シーズンの各型のピークはこれより大きく遅れている。最近では、A/ソ連(H1N1)型が第16週に5(4県)、第17週に1(福岡市)、A/香港(H3N2)型が第16週に14(7県市)、第17週に3(山形県、広島県)、B型が第16週に21(8県市)、第17週に5(山形県、広島県)が報告されている。

週別型別インフルエンザウイルス分離・検出報告数の推移、2000/2001シーズン

(病原微生物検出情報: 2001年5月11日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



## 麻疹ワクチン接種後15日目に分離された麻疹ウイルス： 野生株かワクチン株かの遺伝子学的鑑別 - 広島県

症例は広島県F市に在住の1歳11カ月齢の女児で、2000(平成12)年6月18日に市内の小児科を受診した。受診時の症状は発熱(39)および麻疹様の発疹を呈し、口腔内にコプリック斑を認めたことから、臨床的に麻疹と診断された。なお、患児は2000年6月7日に麻疹生ワクチン(ビケンCAM Lot: ME11)の接種を受けていた。この患者から6月22日に採取された咽頭ぬぐい液について、広島県保健環境センターにおいてウイルス検査を実施したところ、B95a細胞で細胞融合を示すCPEが認められ、ウイルス分離が確認された。分離ウイルスは中和試験および蛍光抗体法にて麻疹ウイルスと同定された。これまでの報告で、麻疹ワクチン接種後2週間以内に発熱や発疹を認めた症例においては、その原因が接種ワクチンの副反応に原因する場合と、流行している野生株の感染によるものの両方があることが示されている。今回の症例も、発症11日前に麻疹生ワクチンの接種を受けていたことから、分離ウイルス株について遺伝子学的鑑別を実施した。方法は、今回の症例から分離されたウイルス株(F00-37041株)からウイルスRNAを抽出し、山口らの報告したプライマー・ペア(MH3およびMH4)を用いたRT-PCR法により、麻疹ウイルスのH遺伝子の836～1,212番目までの塩基、377bpを増幅した。この増幅遺伝子断片について、ダイレクトシーケンス法により塩基配列を決定し、GenBankに登録されている接種ワクチン株(CAM株)のそれと比較した。その結果、両ウイルス株間の遺伝子には13カ所の塩基の相違いが認められ、また塩基配列をアミノ酸に翻訳したもので比較すると、4カ所の相違が認められた。

以上の結果から、F00-37041株は接種ワクチンに由来するものではなく、野外流行ウイルス株であると推定された。

広島県保健環境センター

高尾信一 福田伸治 島津幸枝 野田雅博 徳本静代

国立福山病院

石田喬士



## 海外感染症情報

### フィリピンで感染した狂犬病による死亡例－英国

Eurosurveillance Weekly 2001年5月10日

今週、ロンドンの病院で狂犬病に罹患した患者が死亡した。6週間前、患者はフィリピンで犬の喧嘩の最中に噛まれてから、体調が悪くなるまで医者にかからなかった。

犬の喧嘩後に両方の犬が死んだことが、狂犬病の可能性を示唆していた。

2カ月前Eurosurveillance Weeklyは、海外旅行中の2人のドイツ人が狂犬病に曝露されたことを報じた。

狂犬病が流行している国へ旅行する人は、むやみに動物に触ることを避けるべきである。

もし、コウモリを含む温血動物に噛まれたり、引掻かれたりした場合には、しっかりと傷を洗い、すぐに医療機関を受診しなければならない。

曝露後ワクチン接種は即座に行えば、狂犬病の発症予防に極めて有効である。狂犬病はひとたび発症すれば、ほとんど致死的である。

英国のガイドラインでは曝露後ワクチン接種について、狂犬病のリスクが高い場合には、狂犬病免疫グロブリンをワクチンと同時に接種し、続いてワクチンを4回接種することを推奨している。

狂犬病ワクチンのみの接種(5回接種)は、狂犬病のリスクが低い場合に勧められる。

狂犬病ワクチン接種から2年間経過した人は、ワクチンの追加接種を行うべきである。

曝露前ワクチン接種は、職業として動物に接する人や、動物に噛まれてすぐに医療機関を受診できない旅行者に勧められる。

### スペインへの学校旅行に関連したレジオネラ症

Eurosurveillance Weekly 2001年5月10日

イングランドのリバプールからスペインへの休暇旅行に36人の生徒と共に参加した2人のバス運転手が、レジオネラ症に罹患した。1人が死亡し、もう1人は重症であり入院している。この旅行は2001年4月7日～14日に行われ、参加者はCosta BravaのTossa de Marにあるスポーツクラブハウスの山荘に分かれて泊まった。

運転手2人は同じ山荘に泊まり、2人とも4月11日に発症した。4人の教師が生徒に同伴していたが、教師および生徒からレジオネラ症の症状が出た者はいなかった。2001年2月にも、レジオネラ症に罹患した英国人がまたこのクラブハウスに泊まっていたことがPHLS(Public Health Laboratory Service)に報告されていた。今回の例では、患者の一人は培養検査で*Legionella pneumophila*(血清型1)の分離、および尿中抗原の検出で診断され、もう一人は尿中抗原の検出のみで行われた。診断はロンドンのCentral Public Health Laboratoryで確認された。

リバプールの公衆衛生局は流行対策チームを召集し、旅行に行った子供の学校、親および家庭医に情報を提供した。当局は学校旅行を取り扱う旅行会社、および、旅行に関連するレジオネラ症を扱うEuropean Surveillance Schemeのスペイン協力施設にも情報を提供した。

スペイン公衆衛生当局は、流行の原因を明らかにするために環境調査を行い、宿泊施設での抑制対策が実施されるよう計画している。



## 感染症の話

### C型肝炎

C型肝炎ウイルス(HCV)は輸血後非A非B型肝炎の原因ウイルスとして、1989年その遺伝子のcDNAがクローニングされた。そして、それを基にしたスクリーニング系の導入により、我が国では輸血によるC型肝炎の発生は激減した。しかしながら、我が国には100～200万人のHCVキャリアがいると推定されている。治療法としてはインターフェロン(IFN)療法が行われているものの、完全にウイルスを排除して将来の肝臓等の発生リスクをなくすることができる著効症例が全体の1/3、ウイルスは排除できないが肝炎の進行を遅らせる可能性がある症例が1/3、IFN無効の症例が残りの1/3となっている。また、WHOの報告によると、HCV感染者は全世界ではエイズ患者の4倍の1.8億人存在し、地域によってはキャリアが人口の1割に達するところさえ存在する。米国でも約400万人のHCV感染者の存在が報告され、主な原因は経静脈的薬物乱用によるものと考えられる。感染者の長期予後が明らかになるにつれて、HCVは公衆衛生上極めて重要な病原ウイルスとなっている。

#### 疫学

我が国のHCV感染者数は100～200万人と想定されている。HCVの感染経路としては輸血、経静脈的薬物乱用、血液透析、入れ墨、針治療、観血的医療行為などが考えられる。多くの場合感染経路は明確でないが、血液感染以外の感染の可能性は極めて低いとされている。我が国のC型肝炎患者のうち輸血歴を有するものは3～5割程度であるが、献血スクリーニングの導入などにより、現時点では輸血その他の血液製剤による肝炎の発生は限りなくゼロに近づいている。

HCVに感染していても自覚症状がない場合が多くある。HCVに持続感染している40歳以上の人の6～8割は慢性肝炎に移行する。慢性肝炎に移行した後、自然治癒する確率は0.2%と非常に稀で、10数%の症例は初感染から平均20年の経過で肝硬変に移行する。初感染から平均30年程度経過すると、肝硬変の症例は肝細胞癌を発症する率が高まる。肝臓死亡総数は年間3万人を越え、その70%以上がC型肝炎由来である。

#### 病原体

HCVは一本鎖RNAウイルスで、フラビウイルス科のフラビウイルス属やペスチウイルス属とは異なる新しい第三の属に帰属するものと考えられ、現在までに11～12の遺伝子型に分けられている。電子顕微鏡での観察で、HCVは直径50～60nmの球状のウイルスで外被(エンベロープ)とコアの二重構造を有している。また、HCVは約9.5kbのプラス鎖RNAをゲノムとして持ち、3,010アミノ酸からなる前駆体蛋白質をコードできる一つの読み取り可能域ORFを有している。この前駆体蛋白質から、細胞のシグナラーゼとウイルス自身がコードする2種類のプロテアーゼによって、ウイルス粒子を形成する構造蛋白(コア、2つのエンベロープ)とウイルス粒子に含まれない非構造蛋白(NS2, NS3, NS4A, NS4B, NS5A, NS5B)が産生される。



### 臨床症状

A型、E型急性肝炎では突然の発熱で発症することが多いが、C型肝炎では比較的徐々に食欲不振、全身倦怠感、悪心嘔吐、右季肋部痛、上腹部膨満感、濃色尿などが見られるようになり、引き続き黄疸も認められる例もある。一般的に、C型肝炎ではA型やB型肝炎とは異なり劇症化することは少なく、黄疸などの症状も軽い。慢性肝炎ではほとんどが無症状で、一部軽度の倦怠感を訴える程度であり、血液検査で初めて肝機能異常を指摘されるケースも多い。肝硬変では、倦怠感などの自覚症状の他に、クモ状血管腫、手掌紅斑、女性化乳房などの所見が認められることもあり、さらに非代償期に至ると黄疸、腹水、浮腫、肝性脳症による症状である羽ばたき振戦、意識障害などが出現するようになる。肝細胞癌を合併すると、末期になると肝不全に陥り、他の癌同様の悪液質の状態となる。

### 病原診断

C型肝炎の診断には、血清抗体の検出と核酸・抗原の検出の2種類がある。一般的には、まず初めにHCV抗体検査が用いられる。以前は非構造領域のNS4領域(C100-3)を抗原とする抗体アッセイ系(第一世代)が用いられていたが、後にC100-3抗原、コア抗原、NS3領域の抗原を組み合わせて検出感度を上げた第二世代、さらに、NS5領域の抗原も含めた第三世代の抗体アッセイ系が開発され利用されている。

これらの抗体アッセイ系は過去のHCV感染などでも陽性になるため、HCV RNA定性検査を行う。また、急性C型肝炎においてもHCV抗体の陽性化には感染後通常1～3カ月を要する(ウィンドウ期)ため、この時期にはHCV RNA定性検査を行って診断を確定する必要がある。HCV RNA定性検査法としては、reverse transcription-polymerase chain reaction(RT-PCR)を利用したアンプリコアHCV RNA定性法がある。本法は $10^2 \sim 10^3$ コピー/ml程度の感度を有する。また、ウイルスの増殖状態や治療の効果判定、経過観察などのためにHCV RNAの定量を行う。方法としてはRNAの内部標準を使用した競合RT-PCR法、アンプリコアモニター法や分枝鎖標識DNAプローブを用いて定量する分枝鎖DNAプローブ(bDNA)法などが開発実用化されている。初期のアンプリコアモニター法、分枝鎖DNAプローブ法はHCV2型で低く定量される傾向があった。感度は競合RT-PCR法、アンプリコアモニター法、分枝鎖標識DNAプローブ法の順に低くなる。また、HCVコア蛋白の量を測定する方法もあり、感度は分枝鎖標識DNAプローブ法と同等である。

### 治療・予防

HCV感染の予防はまず感染経路を遮断する事である。以前はHCVの感染経路のうち輸血によるものが注目されていたが、1989年世界に先駆けて献血時にHCV抗体をスクリーニングするようになってから激減した。しかしながら、極めて稀であるが、このような抗体を調べる方法では検出できないウイルスの存在が問題となった。そこで1999年、日本赤十字は世界に先駆けてより高感度にHCV、HBV、HIVの3ウイルスの核酸を検出するNAT(核酸増幅検査)を導入した。全国で献血された血液は各地の血液センターでスクリーニングされ、血清学的反応で陰性の血液すべてを東京(大田区)、京都(福知山)、北海道(千歳)で核酸レベルの検査を行い、現在では、輸血用血液を含むすべての血液製剤がNATを実施後出荷されている。2001年2月末の時点で800万を越えるNATを行い、HCV27例(1/30万)、HBV119例(1/7万)、HIV4例(1/200万)のウイル

ス核酸の存在する血液製剤(血小板を含む)が見い出された。このNATの導入により、その安全性が格段に高まったといえる。

肝炎対策に関する有識者会議において、特に非加熱血液凝固因子製剤を投与された方々について、C型肝炎ウイルスの感染率が他の方々より高いこと、これらの方々は感染に対する不安感がより強い等の理由から、早急に検査機会の拡大をはかり、感染実態を把握すべきとの意見が出された。これを受けて、厚生労働省はこれらの方々に対して肝炎ウイルス検査を呼びかけ、感染実態を把握するための研究を実施するに至った。

現在、C型肝炎に対する根本的治療として有効性が確立し、保険適応されている唯一の抗ウイルス薬はIFNである。IFNなどの抗ウイルス療法が著効しない症例、あるいは副作用などによりIFNを使用できない症例には、抗炎症療法(肝庇護療法)によって肝炎の進行を遅らせ、肝癌の発生を抑制、遅延させる効果が期待される。

一方、C型肝炎に対する予防手段としてワクチン開発が待望されている。C型慢性肝炎患者の血液中にはHCV蛋白に対する様々な特異的抗体が産生され、T細胞応答も惹起される。しかしながら、HCVの多様性やアミノ酸が変異しやすい領域が存在するため、HCVは宿主の免疫監視機構から逃れ、持続感染が成立するものと考えられており、C型肝炎のワクチン開発は難航している。また効率のよい培養系がなく、ウイルスの複製機構や感染のメカニズムがまだよくわかっていないこともあり、ワクチンの開発をいっそう困難にしている。しかし最近、自然治癒症例に、HCVが細胞に侵入するのを阻止する抗体( NOB抗体 )陽性が多いことが判明した。このような抗体が大量に供給できればウイルス感染者への有効な治療薬になるとして、米英伊など世界中で研究が進められている。我が国でもそのような抗体の候補となるものが作り出され、既にHCVに感染したチンパンジーを用いてウイルスを排除することが可能かどうかの研究が行われている。

治療薬の開発研究としては、ウイルスのプロセッシングや複製に不可欠なNS3プロテアーゼやNS5Bポリメラーゼの結晶解析や、特異的阻害剤の創製が進んでいる。また、DNAワクチンの検討も進んでおり、コア蛋白やエンベロープ蛋白に対するCTLや抗体の誘導が報告されている。転写や翻訳を阻害するアンチセンス核酸や、自殺遺伝子を組み込んだウイルスベクターを利用した肝癌の遺伝子治療も、今後期待される研究分野である。

これまでHCVの基礎研究において、革新的な分子生物学的手法の導入により多くの新しい知見が得られ、その成果が臨床に応用されてきた。しかしながら、依然としてHCVの培養細胞における効率の良い増殖系は確立されておらず、これまで明らかにされてきたHCVの性状は、いずれもHCV cDNAの発現産物の解析による人工的なものばかりであり、ウイルス本来の性状やウイルスの自然生活環はまだよくわかっていない。HCVの増殖が効率よく観察できる細胞培養系の確立が、依然として最重要研究課題である。最近、完全長のHCV RNAが構築され、チンパンジーを用いた感染実験で、その感染性が証明された。この系が培養細胞での感染実験でも利用できる状態にする必要がある。また、ウイルス側に薬剤選択マーカーを導入してウイルスを増やせる細胞を選び出すことにより、効率の良い感染系を構築したという報告もなされている。ツパイという小動物が、HCVの感染動物になりうる可能性を示唆する報告もある。このようにHCVの基礎研究の進歩は著しく、臨床応用の面でも期待が持てるものと思われる。

### 発生動向調査について

急性ウイルス性肝炎は感染症法において4類感染症全数把握疾患に分類されており、診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届ける。報告のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって検査所見による判断がなされたもの

- ・核酸・抗原の検出:(例)HCV抗体陰性で、HCV RNAまたはHCVコア抗原が陽性のもの
- ・血清抗体の検出:(例)患者ペア血清で、第2あるいは第3世代HCV抗体の明らかな抗体価上昇を認めるもの

上記の急性ウイルス性肝炎の報告のための基準を満たすもので、かつ、劇症肝炎となったものについては、報告書の「症状」欄にその旨を記載する。劇症肝炎については、以下の基準を用いる。

- ・肝炎のうち症状発現後8週以内に高度の肝機能障害に基づいて肝性昏睡II度以上の脳症をきたし、プロトロンビン時間40%以下を示すもの。発病後10日以内の脳症の出現は急性型、それ以降の発現は亜急性型とする。

(国立感染症研究所ウイルス第二部 相崎英樹 鈴木哲朗)



## 読者のコーナー

Q:強い鶏卵アレルギーがある幼児に麻疹ワクチンを接種する場合、現在私は、ワクチン10倍希釈液で皮内テストを行って接種の是非の参考にしていますが、どの程度の鶏卵アレルギーを有する人の場合皮内テストをする必要があるのかははっきりした基準を持っていません。一応IgE RASTで卵白スコアが3程度か、実際に鶏卵を摂取してなんらかの即時型アレルギー反応が出たことのある場合に皮内テストを実施しています。

皮内テストの必要性の有無、および、必要な場合どのレベルのアレルギー(できればIgE RASTスコアなど客観的指標で)に対し行うべきかご教授下さい。

(和歌山県小児科医 井戸茂樹)

### 鶏卵アレルギーのある幼児への麻疹ワクチンの接種について

IDWRへのご質問ありがとうございました。この問題はご質問がたくさん来ており、実際に接種にあたってお困りの先生方が多いと伺っております。以下にご回答を記載させていただきました。

卵アレルギーを有する小児に対する麻疹ワクチンに関してですが、麻疹ワクチンに含まれる鶏卵成分はきわめて少なく、麻疹ワクチンと卵アレルギーとの間に相関関係はないといわれています。実際に入っている鶏卵成分は、卵に関するアレルギー診断用の皮内抗原液より微量です。このことから、麻疹ワクチン接種にあたって、卵成分を考慮する必要はあまりないと思います。

実際に、卵アレルギーを有する小児に対する麻疹ワクチン皮内テスト(100倍希釈液)と、卵白および卵黄RAST scoreとの関係を検討してみた報告でも(第3回日本ワクチン学会 - 名古屋: 1999年)まったく相関は認められていませんでした。

ただし、鶏卵に対して強いアレルギーを有する小児においては、ワクチンの他の成分に対してアレルギー反応を起こす可能性があるという意味で、皮内テストをスクリーニングとして行っているのが現状だと思います。

ある施設での接種方法ですが(参考文献:小児科Vol.41. No.10, 2000,1778-1785)、アナフィラキシー反応既往者(原因は何であっても)や重篤なアレルギー疾患を有する小児には、まずワクチン液によるスクラッチテストを施行して陰性ならば、ワクチン100倍希釈液による皮内テストを施行しています。それ以外の何らかのアレルギー疾患を有する小児に対しては、ワクチン100倍希釈液による皮内テストから始めています。この方法でスクリーニングすることにより、重篤なアレルギー反応を認めた小児はいないようです。

100倍希釈液を用いたスクリーニングについての結果を参照いたしましたが、皮内テストに用いるワクチン希釈液として10倍、100倍いずれを使用したほうが良いのかについては、まだ明確な結論は出ていないように思いますので、先生がご使用の10倍希釈液でももちろん同じような結果が出ると思います。

先生のご質問の主旨である、皮内テストの必要性およびどのレベルのアレルギーに対し行うべきかについての明確なお答えにはならないと思いますが、接種医の先生のご判断で、アレルギー反応が心配される場合や、家族の不安が強い場合は皮内テストをするというのは如何でしょうか。ただし、即時型アレルギー反応既往者やこれまでのワクチン接種で何らかのアレルギー反応を認めた小児では、必ず施行した方がよいと思われます。

もし、皮内テストをしなかった場合は、必ず接種後30分間は院内に待機してもらい、アレルギー反応が起こったときはすぐに緊急処置を行うというのも一つではないかと思えます。

実際にこれまで、全くアレルギー歴がなく家族にもアレルギー疾患の人がいない小児において、アナフィラキシー反応を経験したことがあります。この小児はその後ゼラチンアレルギーであることが判明したのですが、ワクチン接種後は必ず30分間院内での待機ができていれば、早急な対応ができるのではないかと考えております。

現在各ワクチンメーカーのご努力により、ゼラチンは不含有、あるいはアレルギー反応を起こしにくいゼラチンを使用したワクチンが製造されていますので、ゼラチンに関してはご安心いただいてもよいと思います。

麻疹が現在日本各地で流行しています。一人でも多くの子供達に麻疹ワクチンが接種されることを強く希望いたします。

(国立感染症研究所感染症情報センター・予防接種室)

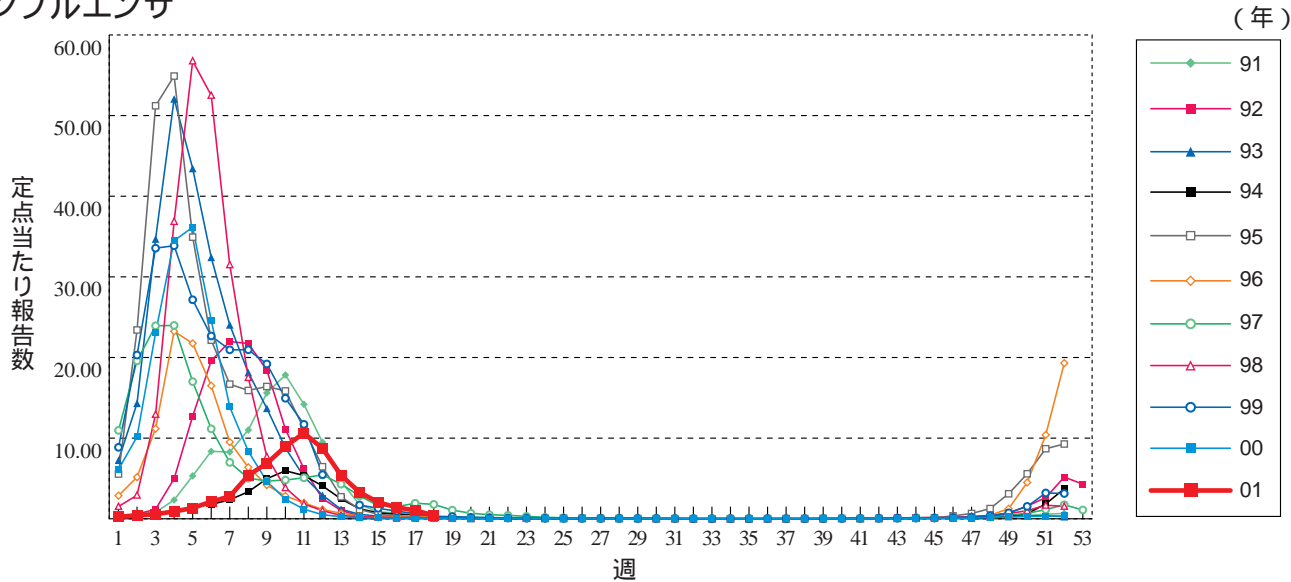
\*\*\*\*\*

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。  
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-QをつけてこちらまでEメールでどうぞ。

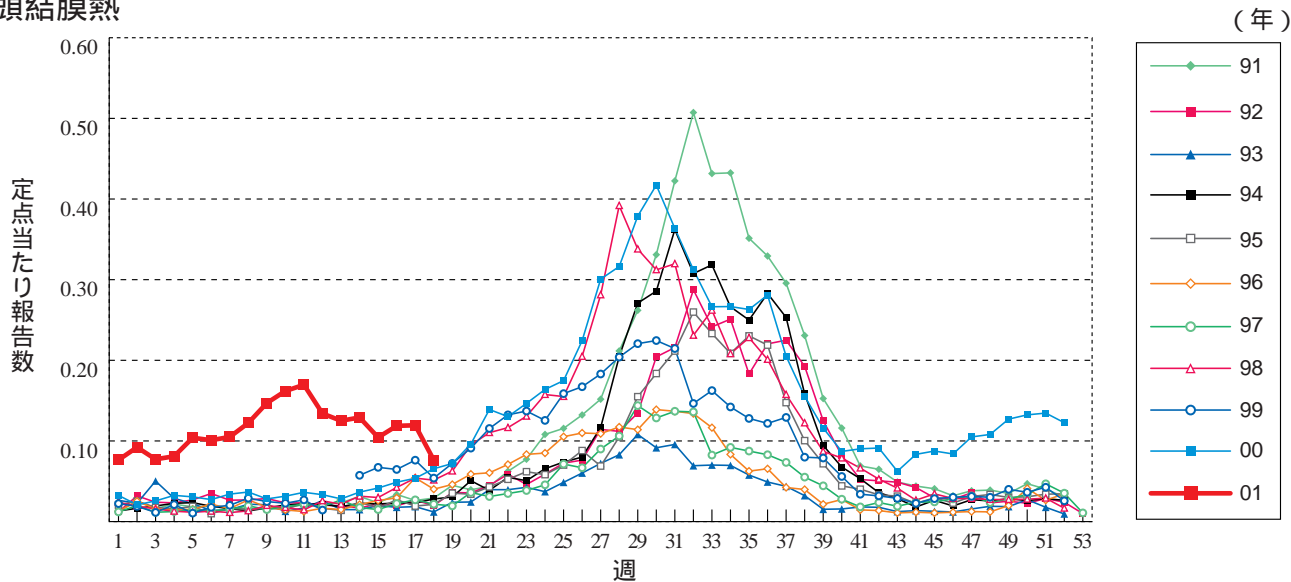
[idsc-query@nih.go.jp](mailto:idsc-query@nih.go.jp)

**グラフ総覧(18週)**

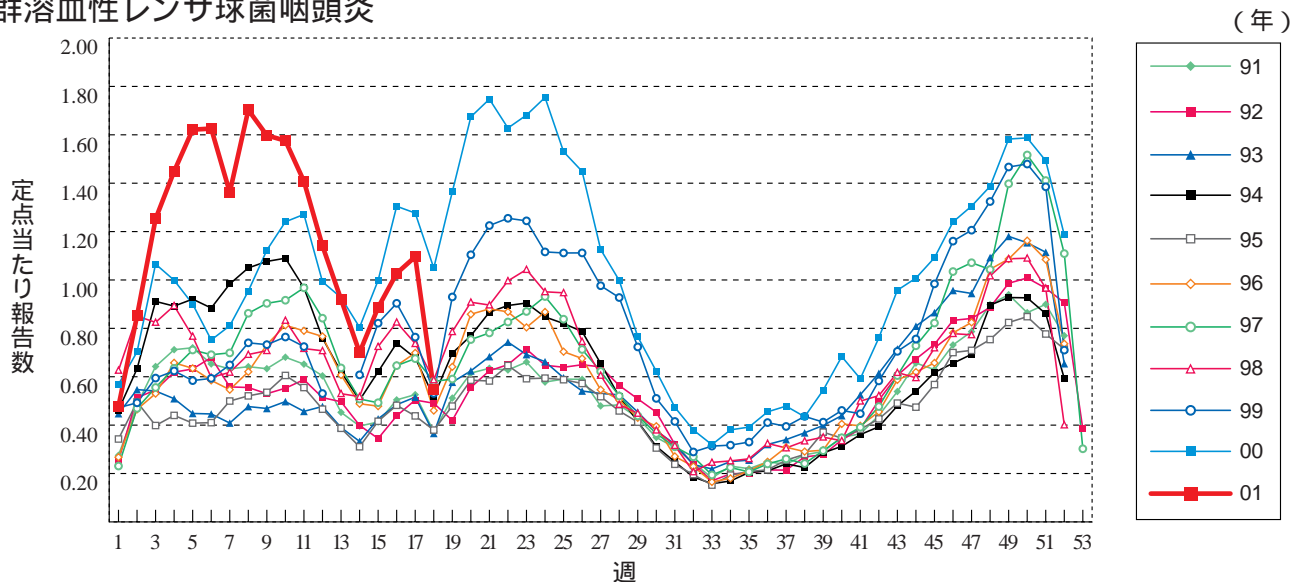
**インフルエンザ**



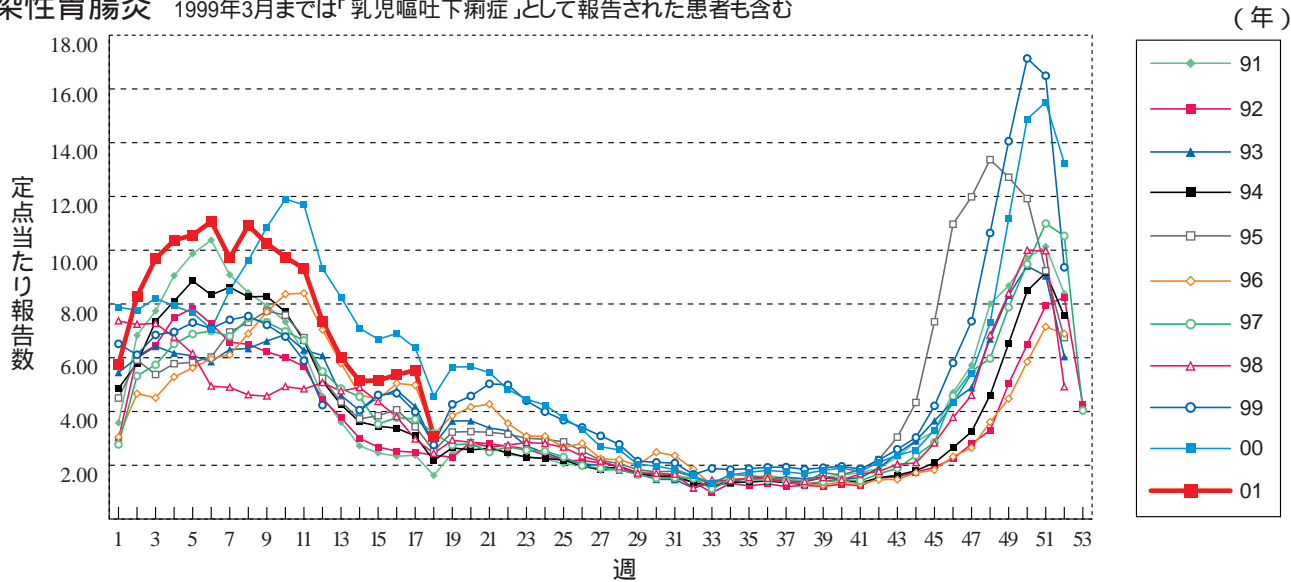
**咽頭結膜熱**



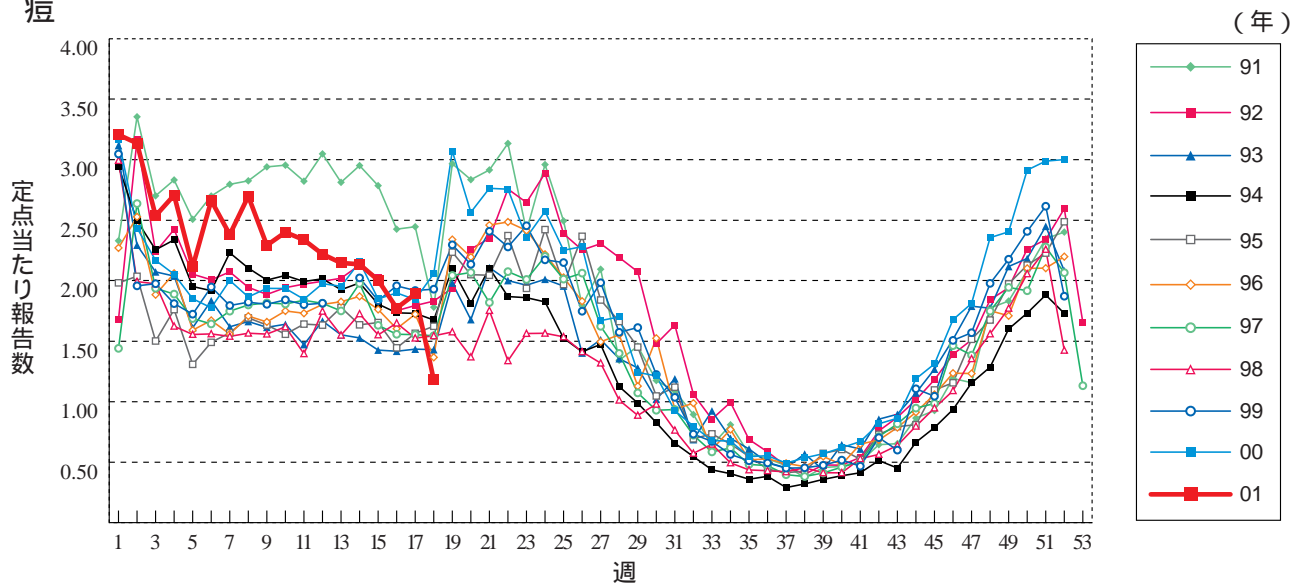
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



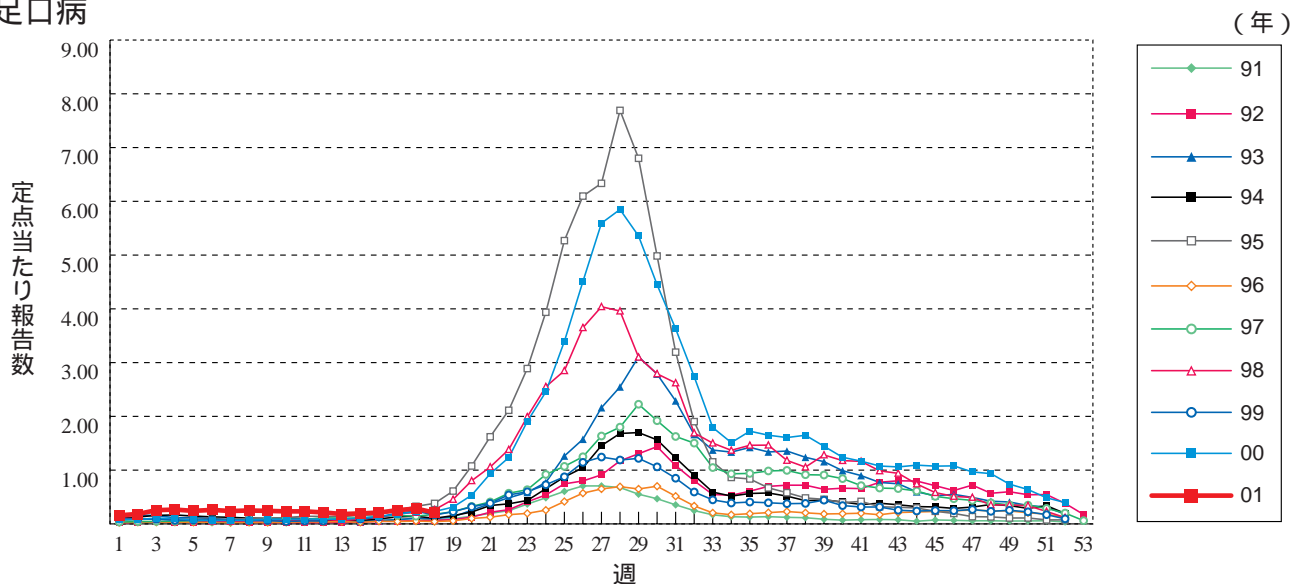
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



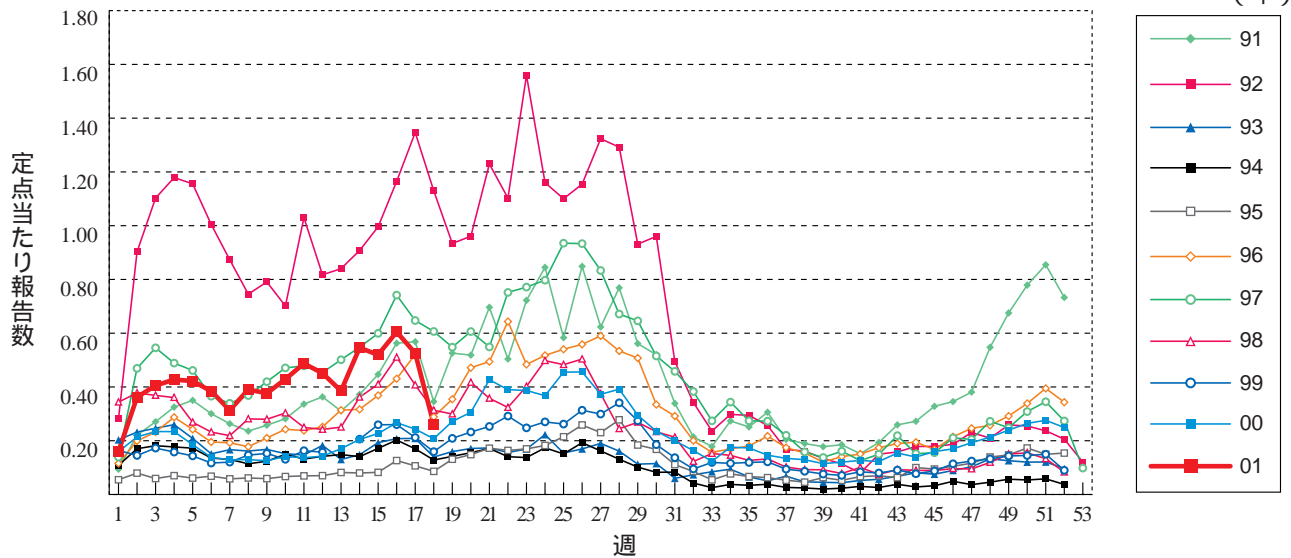
**水痘**



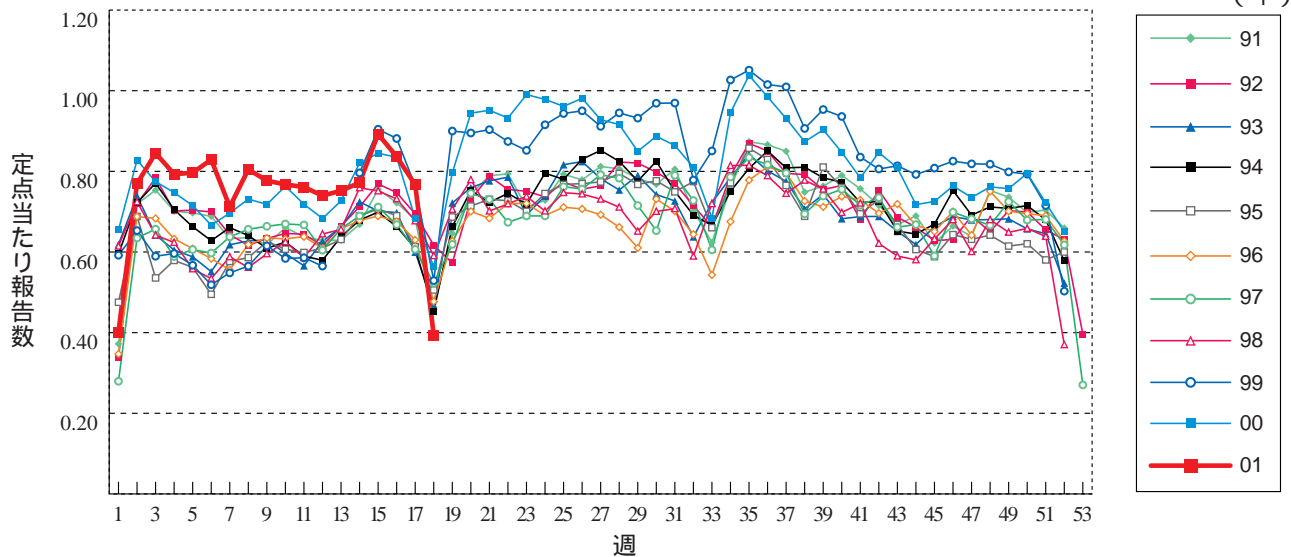
**手足口病**



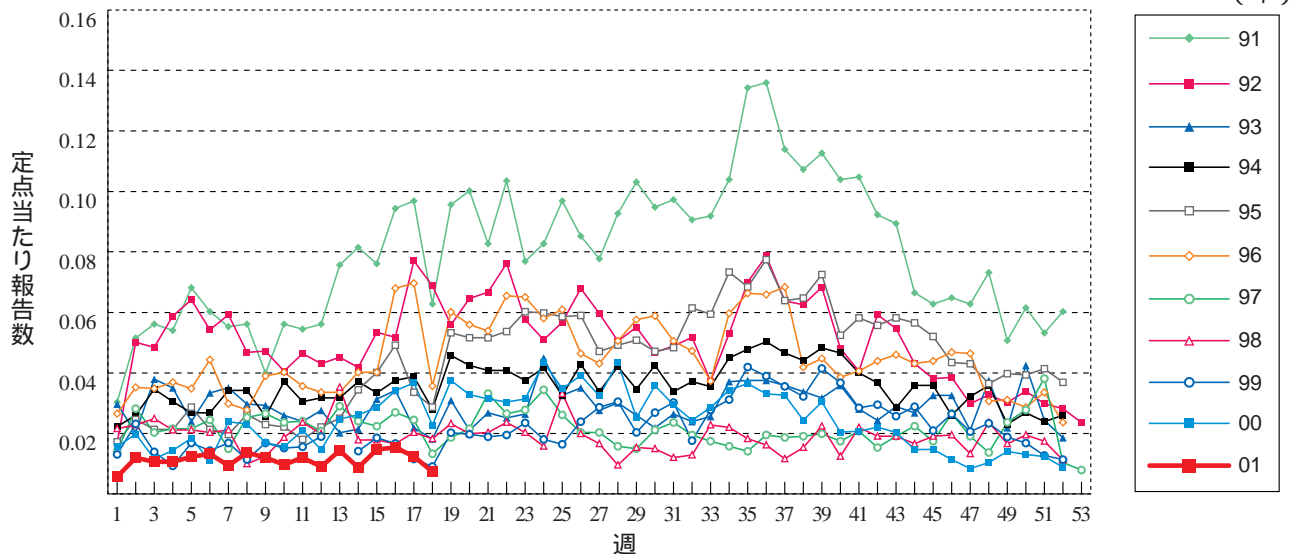
伝染性紅斑



突発性発疹

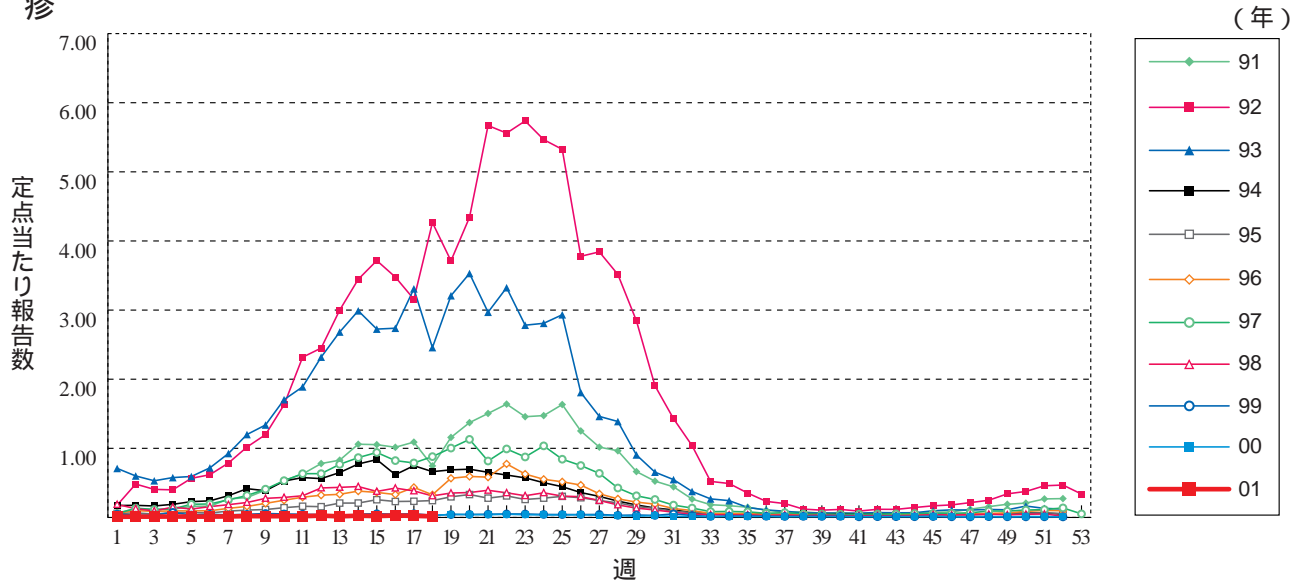


百日咳

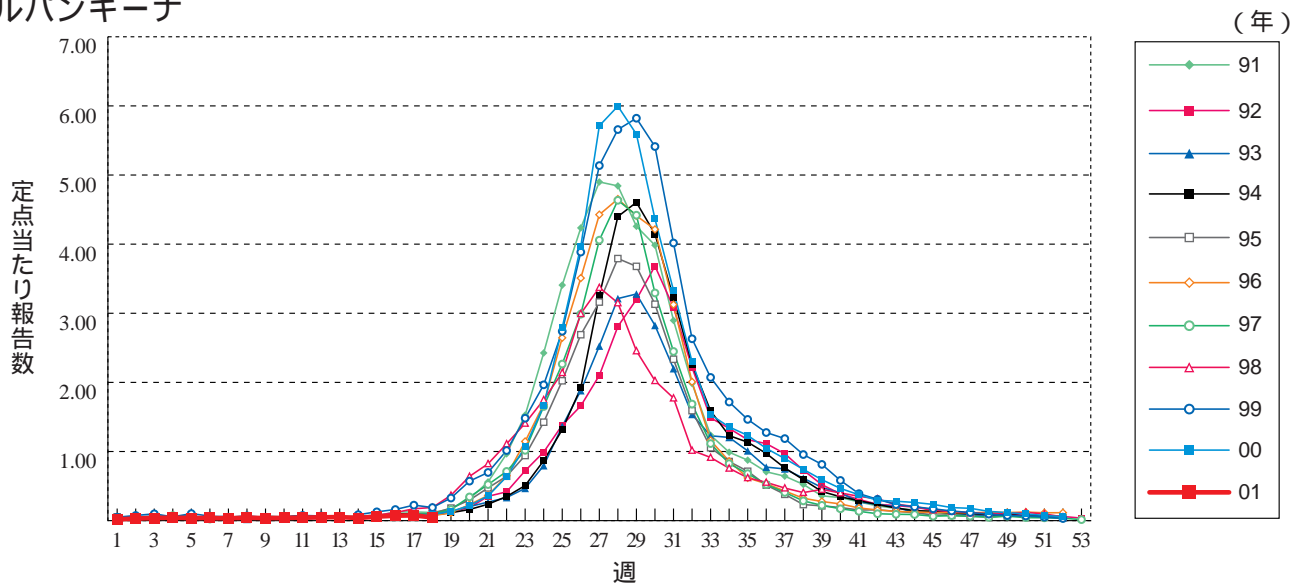




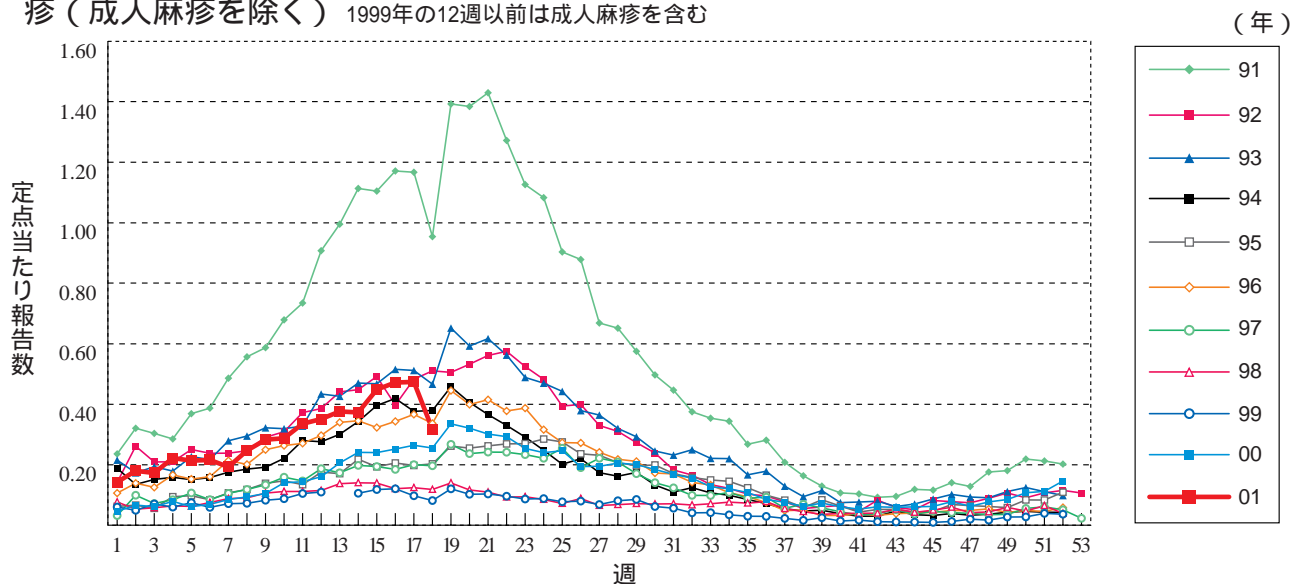
風 疹



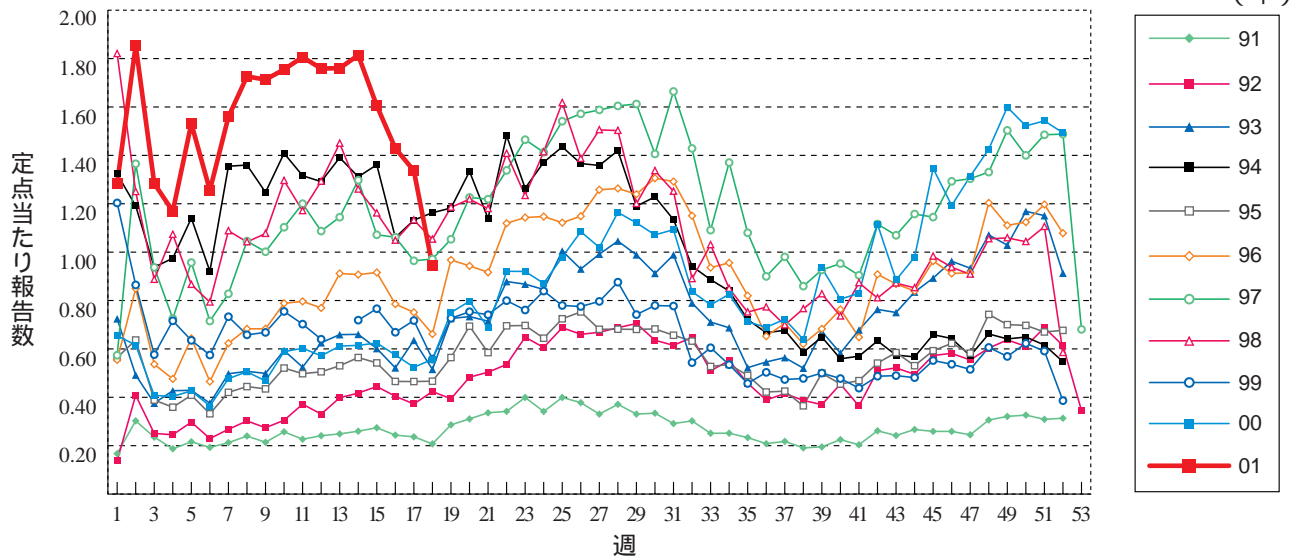
ヘルパンギーナ



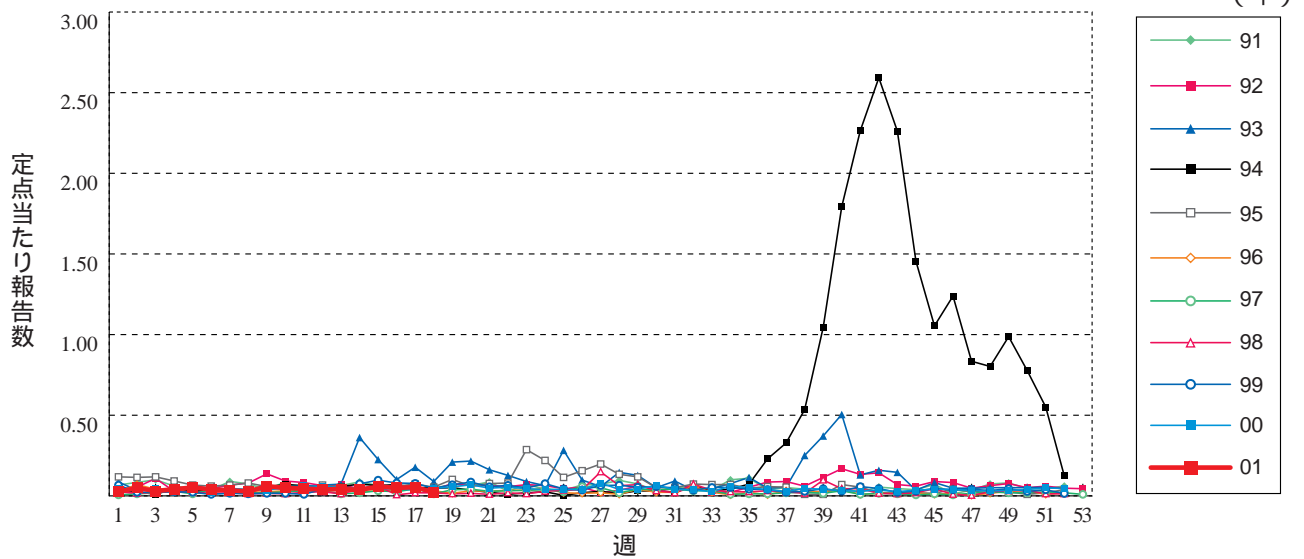
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



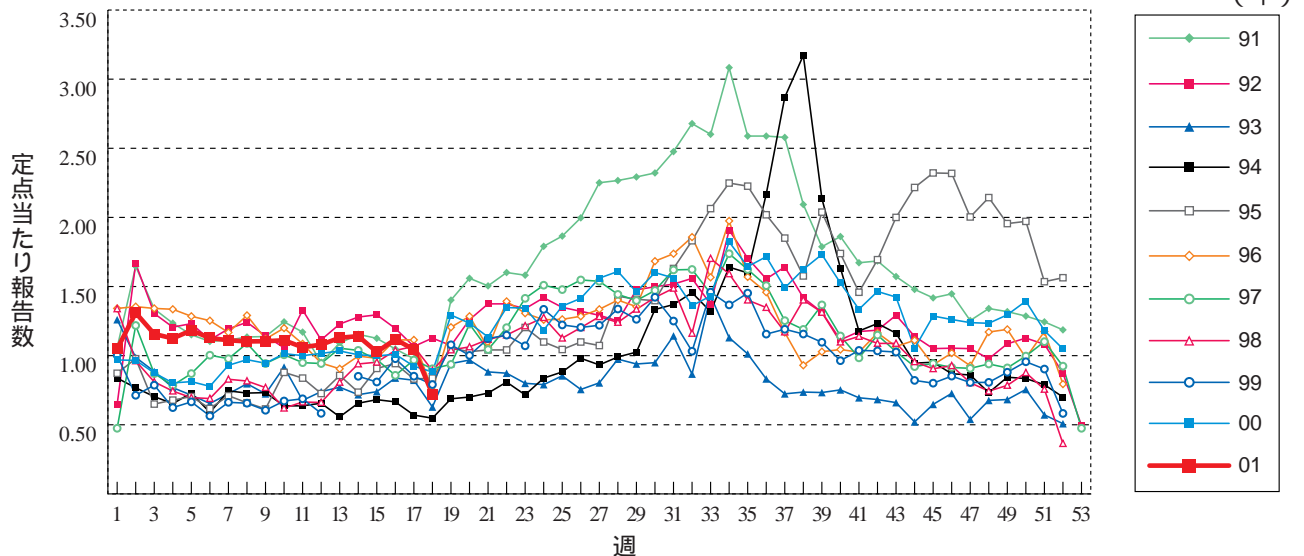
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

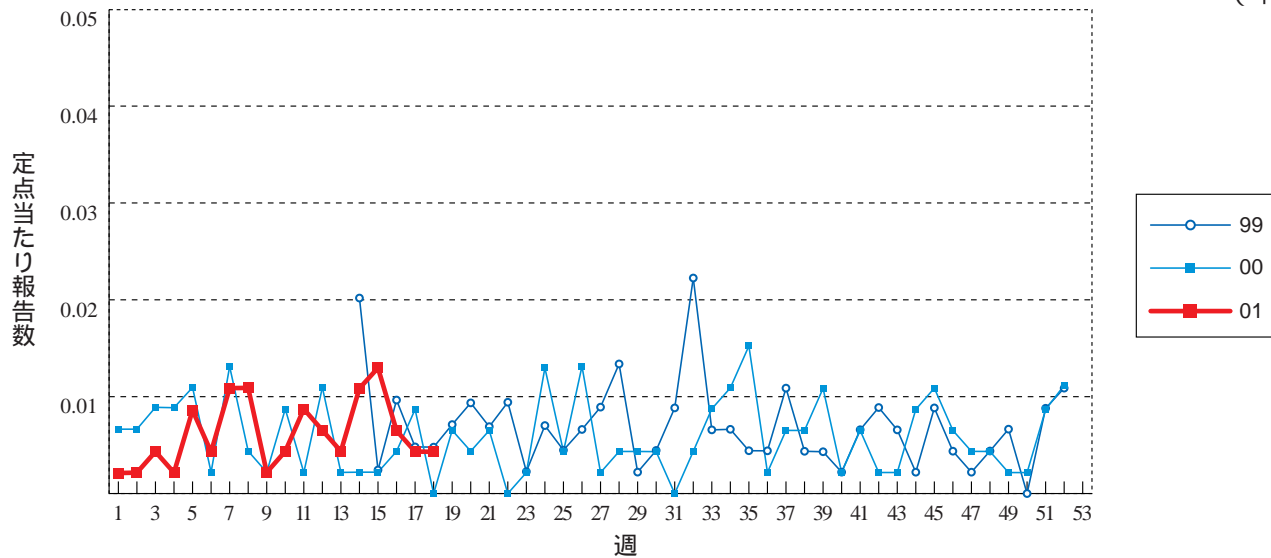


流行性角結膜炎



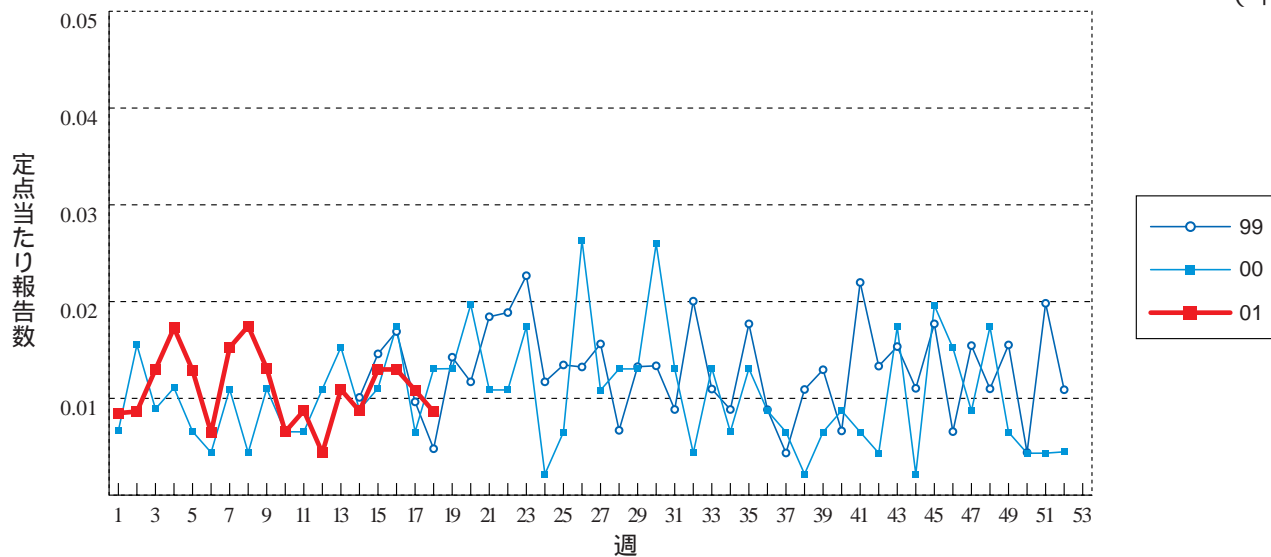
急性脳炎(日本脳炎を除く)

(年)



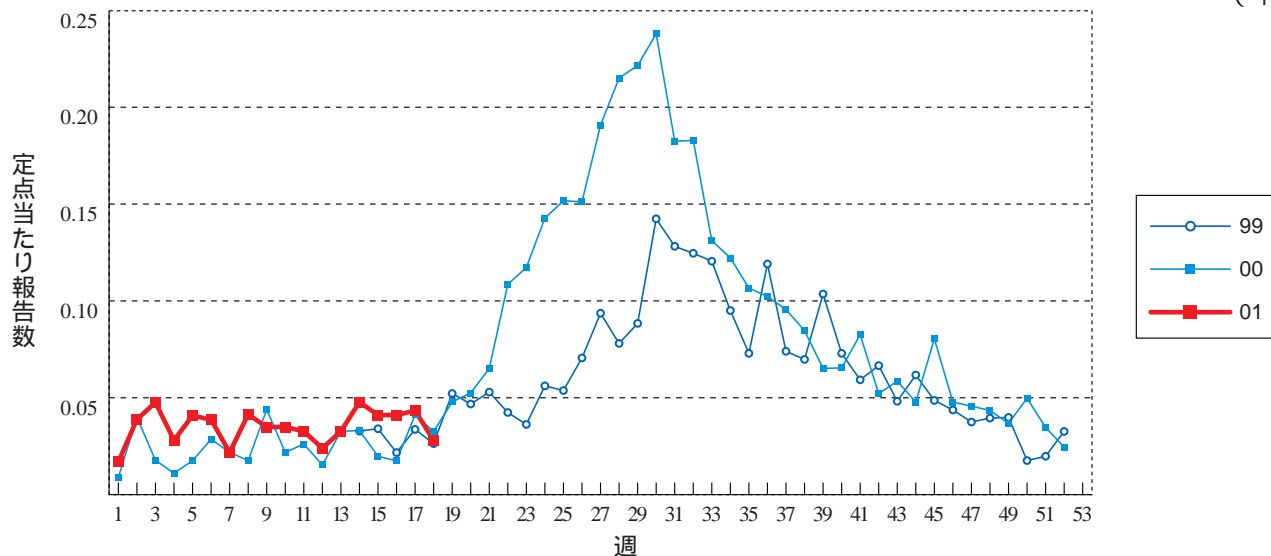
細菌性髄膜炎

(年)



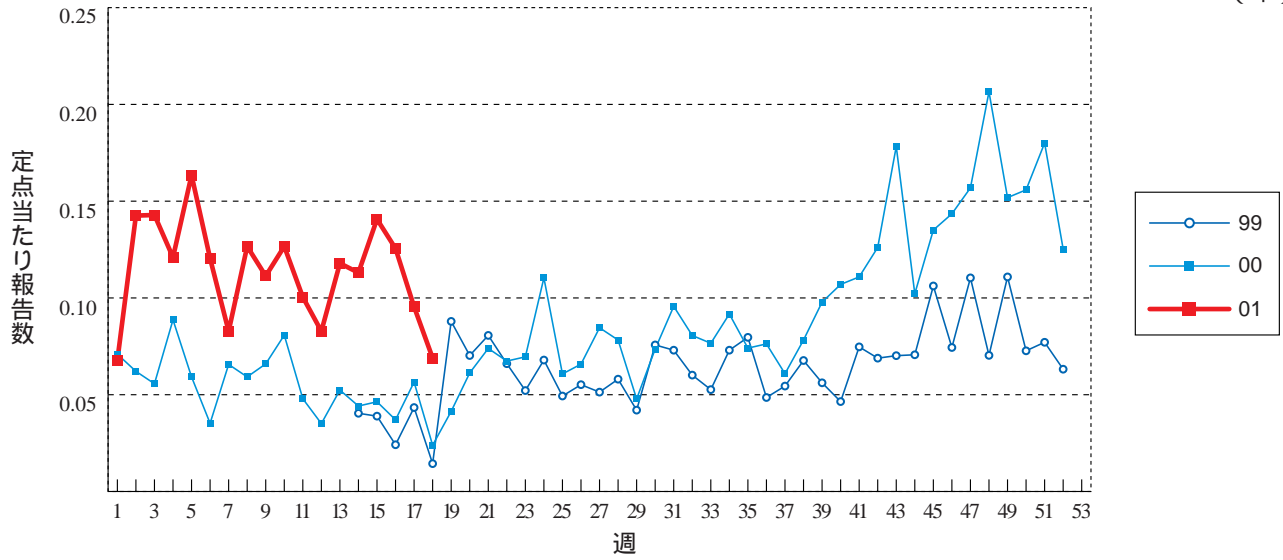
無菌性髄膜炎

(年)



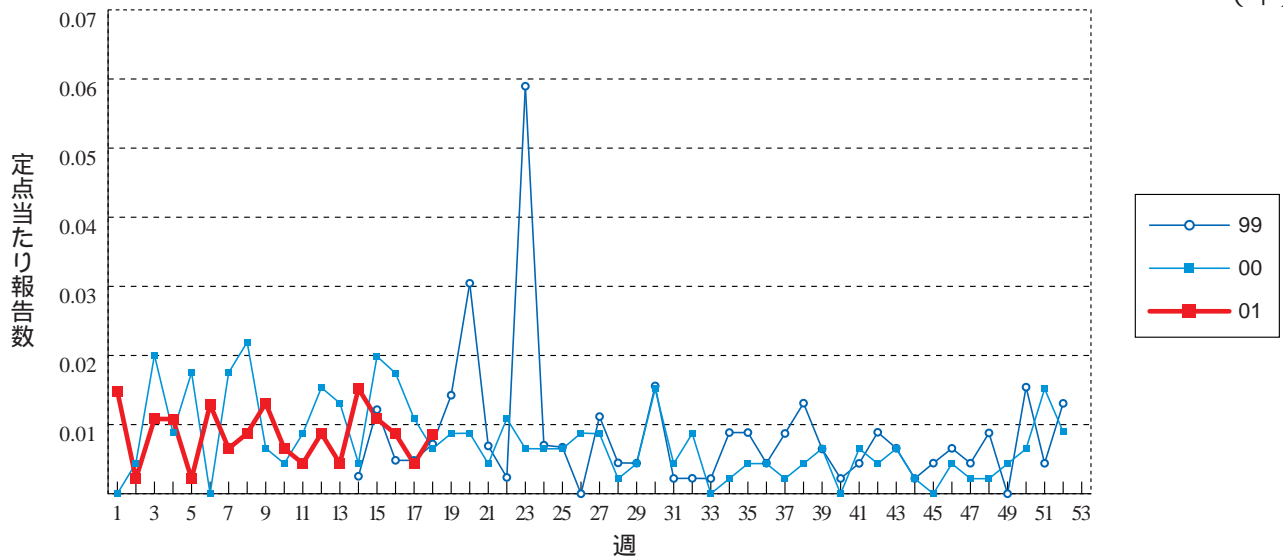
マイコプラズマ肺炎

(年)



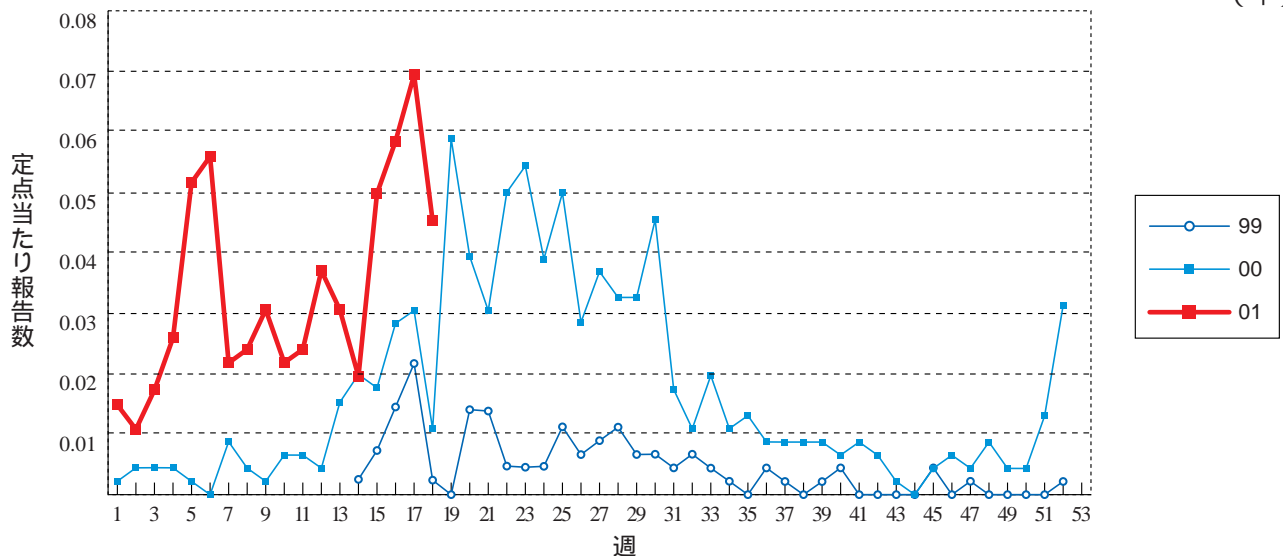
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





## 17週のデータ

注)表中の報告数は5月8日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年17週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	8	213	3	18	1	4		
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	11	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	40	3	6	1	3		
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	17	-	-	-	-	1	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	13	-	2	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	4	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	12	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年17週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	23	501	2	117	-	2	-	-	-	10	-	-	6	212
北海道	-	-	-	-	1	8	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
秋田県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
栃木県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
埼玉県	-	-	-	-	-	36	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	-	1	134	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	2	33	-	34	-	-	-	-	-	4	-	-	1	29
神奈川県	-	-	-	-	-	38	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	1	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
静岡県	-	-	-	-	-	11	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	3	23	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
三重県	-	-	-	-	1	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	1	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	1	19	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大阪府	-	-	-	-	3	54	-	21	-	-	-	-	-	1	-	-	1	23
兵庫県	-	-	-	-	1	13	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	20
奈良県	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
広島県	-	-	-	-	-	16	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8
山口県	-	-	-	-	1	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	1	15	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	4	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鹿児島県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
沖縄県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年17週

	Q熱		狂犬病		クリプトスפורジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	7	-	-	-	3	-	30	-	14	13	268	-	1	2	45	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	5	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	-	-	-	2	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	14	-	-	-	1	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	-	2	-	1	7	120	-	-	1	26	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	1	-	2	-	-	3	33	-	-	-	4	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	2	-	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	5	-	-	1	5	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	14	-	-	-	4	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年17週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ボツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	3	-	-	-	-	2	54	1	9	-	-	-	-	-	-	1	156
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
東京都	-	1	-	-	-	-	-	2	1	6	-	-	-	-	-	-	-	31
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	24
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2



第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年17週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	12	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	2	30	-	-	-	24
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
千葉県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
東京都	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	4
神奈川県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年17週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	4806	1.04	357	0.12	3276	1.10	16538	5.53	5650	1.89	852	0.29	1572	0.53	2292	0.77	37	0.01
北海道	313	1.36	4	0.03	219	1.51	351	2.42	220	1.52	6	0.04	53	0.37	106	0.73	-	-
青森県	76	1.19	2	0.05	33	0.80	64	1.56	58	1.41	13	0.32	5	0.12	18	0.44	-	-
岩手県	221	3.62	2	0.05	43	1.16	78	2.11	45	1.22	1	0.03	29	0.78	17	0.46	-	-
宮城県	193	1.99	5	0.08	65	1.10	410	6.95	114	1.93	1	0.02	64	1.08	50	0.85	-	-
秋田県	257	4.67	1	0.03	46	1.31	185	5.29	25	0.71	1	0.03	24	0.69	22	0.63	-	-
山形県	129	2.69	-	-	82	2.73	191	6.37	34	1.13	1	0.03	37	1.23	37	1.23	2	0.07
福島県	78	0.98	-	-	42	0.88	207	4.31	94	1.96	5	0.10	29	0.60	38	0.79	1	0.02
茨城県	34	0.29	3	0.04	91	1.25	302	4.14	96	1.32	2	0.03	24	0.33	40	0.55	3	0.04
栃木県	11	0.16	3	0.07	87	1.89	174	3.78	76	1.65	2	0.04	11	0.24	25	0.54	-	-
群馬県	39	0.39	4	0.06	142	2.29	234	3.77	110	1.77	-	-	26	0.42	60	0.97	-	-
埼玉県	140	0.59	17	0.11	259	1.74	937	6.29	326	2.19	21	0.14	223	1.50	138	0.93	2	0.01
千葉県	70	0.35	19	0.15	150	1.15	635	4.88	270	2.08	19	0.15	109	0.84	84	0.65	1	0.01
東京都	47	0.26	6	0.04	63	0.44	495	3.49	190	1.34	9	0.06	59	0.42	68	0.48	-	-
神奈川県	98	0.29	20	0.10	199	0.97	924	4.49	357	1.73	13	0.06	104	0.50	140	0.68	1	0.00
新潟県	142	1.43	33	0.55	211	3.52	565	9.42	70	1.17	3	0.05	11	0.18	61	1.02	2	0.03
富山県	217	4.52	3	0.10	63	2.17	216	7.45	44	1.52	3	0.10	14	0.48	17	0.59	2	0.07
石川県	87	1.81	1	0.03	23	0.79	612	21.10	49	1.69	7	0.24	22	0.76	33	1.14	-	-
福井県	35	1.09	3	0.14	30	1.36	186	8.45	72	3.27	8	0.36	20	0.91	17	0.77	-	-
山梨県	91	2.22	-	-	23	0.92	107	4.28	18	0.72	5	0.20	17	0.68	16	0.64	-	-
長野県	191	2.22	-	-	92	1.70	368	6.81	176	3.26	7	0.13	8	0.15	39	0.72	1	0.02
岐阜県	109	1.47	2	0.04	61	1.30	219	4.66	53	1.13	2	0.04	16	0.34	27	0.57	1	0.02
静岡県	121	0.88	7	0.08	83	0.97	523	6.08	255	2.97	6	0.07	40	0.47	86	1.00	5	0.06
愛知県	303	1.58	60	0.33	195	1.07	764	4.20	348	1.91	11	0.06	121	0.66	127	0.70	3	0.02
三重県	71	0.97	4	0.09	53	1.18	405	9.00	98	2.18	14	0.31	38	0.84	55	1.22	-	-
滋賀県	21	0.46	28	0.90	13	0.42	171	5.52	31	1.00	4	0.13	11	0.35	17	0.55	-	-
京都府	108	0.86	5	0.07	49	0.64	562	7.39	95	1.25	3	0.04	19	0.25	44	0.58	-	-
大阪府	128	0.42	21	0.11	120	0.62	1010	5.23	232	1.20	10	0.05	42	0.22	114	0.59	1	0.01
兵庫県	141	0.71	8	0.06	82	0.64	1122	8.77	260	2.03	31	0.24	37	0.29	133	1.04	1	0.01
奈良県	10	0.18	1	0.03	25	0.71	195	5.57	69	1.97	2	0.06	12	0.34	29	0.83	2	0.06
和歌山県	35	0.71	-	-	22	0.71	224	7.23	74	2.39	2	0.06	2	0.06	16	0.52	2	0.06
鳥取県	34	1.17	4	0.21	68	3.58	249	13.11	36	1.89	-	-	1	0.05	14	0.74	-	-
島根県	48	1.26	3	0.13	2	0.09	93	4.04	31	1.35	1	0.04	3	0.13	14	0.61	-	-
岡山県	70	0.83	5	0.09	45	0.83	342	6.33	73	1.35	3	0.06	18	0.33	24	0.44	-	-
広島県	67	0.82	4	0.08	70	1.37	368	7.22	147	2.88	4	0.08	47	0.92	47	0.92	-	-
山口県	98	1.40	32	0.65	41	0.84	299	6.10	136	2.78	55	1.12	27	0.55	52	1.06	1	0.02
徳島県	41	1.08	-	-	32	1.39	141	6.13	36	1.57	2	0.09	2	0.09	23	1.00	1	0.04
香川県	34	0.67	2	0.06	7	0.22	132	4.13	33	1.03	1	0.03	17	0.53	29	0.91	1	0.03
愛媛県	103	1.61	6	0.15	37	0.95	239	6.13	89	2.28	3	0.08	30	0.77	39	1.00	1	0.03
高知県	24	0.49	3	0.10	36	1.16	81	2.61	86	2.77	2	0.06	4	0.13	28	0.90	-	-
福岡県	136	0.74	4	0.04	73	0.70	404	3.85	156	1.49	151	1.44	50	0.48	74	0.70	1	0.01
佐賀県	31	0.79	2	0.09	12	0.52	113	4.91	79	3.43	28	1.22	19	0.83	47	2.04	1	0.04
長崎県	10	0.15	5	0.10	11	0.23	233	4.85	79	1.65	99	2.06	19	0.40	27	0.56	-	-
熊本県	72	0.89	11	0.22	31	0.63	282	5.76	142	2.90	105	2.14	33	0.67	52	1.06	1	0.02
大分県	97	1.67	1	0.03	33	0.92	325	9.03	126	3.50	35	0.97	15	0.42	25	0.69	-	-
宮崎県	121	2.02	8	0.22	60	1.62	384	10.38	128	3.46	99	2.68	42	1.14	51	1.38	-	-
鹿児島県	202	2.06	1	0.02	41	0.68	396	6.60	152	2.53	37	0.62	13	0.22	50	0.83	-	-
沖縄県	102	1.76	4	0.12	11	0.32	21	0.62	162	4.76	15	0.44	5	0.15	22	0.65	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年17週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	68	0.02	228	0.08	1416	0.47	3995	1.34	34	0.05	654	1.04	2	0.00	5	0.01	20	0.04
北海道	4	0.03	3	0.02	186	1.28	186	1.28	-	-	24	0.83	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	3	0.07	4	0.10	39	0.95	-	-	5	0.45	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	2	0.05	4	0.11	10	0.27	-	-	12	1.00	-	-	-	-	-	-
宮城県	4	0.07	1	0.02	14	0.24	13	0.22	-	-	2	0.18	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	1	0.03	20	0.57	20	0.57	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	2	0.07	-	-	-	-	24	0.80	-	-	3	0.38	-	-	-	-	1	0.11
福島県	2	0.04	3	0.06	35	0.73	32	0.67	-	-	19	1.58	-	-	-	-	-	-
茨城県	2	0.03	-	-	11	0.15	91	1.25	1	0.06	54	3.38	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	2	0.04	1	0.02	29	0.63	-	-	20	1.67	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	3	0.05	13	0.21	55	0.89	2	0.14	36	2.57	-	-	-	-	-	-
埼玉県	3	0.02	5	0.03	41	0.28	299	2.01	1	0.03	28	0.80	-	-	-	-	-	-
千葉県	2	0.02	1	0.01	56	0.43	223	1.72	2	0.06	35	1.03	-	-	-	-	-	-
東京都	1	0.01	6	0.04	18	0.13	118	0.83	-	-	17	1.21	-	-	1	0.04	1	0.04
神奈川県	3	0.01	6	0.03	23	0.11	301	1.46	10	0.24	50	1.22	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	1	0.02	1	0.02	149	2.48	-	-	9	1.00	-	-	-	-	3	0.23
富山県	-	-	2	0.07	1	0.03	25	0.86	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.03	-	-	35	1.21	46	1.59	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.20
福井県	-	-	2	0.09	6	0.27	134	6.09	-	-	3	1.00	-	-	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	-	-	2	0.08	9	0.36	-	-	1	0.33	-	-	1	0.10	-	-
長野県	-	-	2	0.04	18	0.33	105	1.94	-	-	26	2.60	-	-	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	4	0.09	12	0.26	41	0.87	2	0.18	5	0.45	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	3	0.03	29	0.34	160	1.86	-	-	23	1.15	-	-	1	0.13	1	0.13
愛知県	6	0.03	6	0.03	77	0.42	220	1.21	2	0.06	35	1.00	-	-	-	-	-	-
三重県	3	0.07	5	0.11	10	0.22	92	2.04	1	0.08	4	0.33	-	-	-	-	2	0.22
滋賀県	-	-	1	0.03	4	0.13	37	1.19	1	0.14	13	1.86	-	-	-	-	-	-
京都府	1	0.01	4	0.05	16	0.21	70	0.92	-	-	15	0.83	-	-	-	-	-	-
大阪府	10	0.05	35	0.18	82	0.42	180	0.93	-	-	20	0.38	-	-	-	-	1	0.09
兵庫県	-	-	17	0.13	19	0.15	113	0.88	-	-	21	0.60	-	-	-	-	1	0.07
奈良県	1	0.03	1	0.03	21	0.60	29	0.83	-	-	11	1.22	1	0.17	-	-	3	0.50
和歌山県	-	-	2	0.06	5	0.16	21	0.68	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	2	0.11	1	0.05	12	0.63	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-
島根県	-	-	1	0.04	2	0.09	11	0.48	1	0.33	3	1.00	-	-	-	-	-	-
岡山県	3	0.06	7	0.13	12	0.22	30	0.56	-	-	12	1.00	-	-	-	-	-	-
広島県	8	0.16	8	0.16	74	1.45	93	1.82	1	0.08	17	1.42	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	2	0.04	7	0.14	66	1.35	-	-	10	1.11	-	-	-	-	-	-
徳島県	1	0.04	1	0.04	2	0.09	10	0.43	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	1	0.03	1	0.03	24	0.75	92	2.88	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	3	0.08	3	0.08	57	1.46	1	0.14	12	1.71	1	0.17	-	-	-	-
高知県	1	0.03	2	0.06	53	1.71	13	0.42	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
福岡県	2	0.02	32	0.30	69	0.66	218	2.08	-	-	17	0.71	-	-	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	9	0.39	8	0.35	119	5.17	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	2	0.04	13	0.27	27	0.56	39	0.81	9	0.90	35	3.50	-	-	-	-	1	0.07
熊本県	-	-	17	0.35	126	2.57	114	2.33	-	-	19	2.11	-	-	-	-	1	0.07
大分県	1	0.03	2	0.06	113	3.14	72	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.03	3	0.08	35	0.95	71	1.92	-	-	9	2.25	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	3	0.05	30	0.50	53	0.88	-	-	10	1.67	-	-	-	-	-	-
沖縄県	3	0.09	1	0.03	66	1.94	54	1.59	-	-	5	0.50	-	-	1	0.14	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成13年17週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	44	0.10	2	0.00	32	0.07
北海道	-	-	-	-	4	0.17
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-
宮城県	9	0.75	1	0.08	-	-
秋田県	1	0.13	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	1	0.14	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	1	0.10
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	2	0.08
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	2	0.15	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	2	0.40
石川県	-	-	-	-	3	0.60
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	4	0.40	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.25	-	-	-	-
愛知県	1	0.08	-	-	-	-
三重県	1	0.11	-	-	-	-
滋賀県	2	0.29	-	-	-	-
京都府	1	0.17	-	-	-	-
大阪府	2	0.18	-	-	3	0.27
兵庫県	2	0.14	-	-	2	0.14
奈良県	2	0.33	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	3	0.60	-	-	-	-
広島県	1	0.07	-	-	1	0.07
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.17	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	2	0.25
福岡県	5	0.33	1	0.07	5	0.33
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.07	-	-	1	0.07
大分県	1	0.10	-	-	5	0.50
宮崎県	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	1	0.14



## 18週のデータ

注)表中の報告数は5月10日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年18週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	12	226	2	20	1	6		
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	12	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	11	-	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	41	1	6	1	4	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	18	-	-	-	-	2	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1	1	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	14	-	2	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	4	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	18	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	12	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年18週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	15	519	-	118	-	2	-	-	-	10	-	-	5	231
北海道	-	-	-	-	-	8	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
秋田県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9
埼玉県	-	-	-	-	-	36	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	-	2	136	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	-	33	-	35	-	-	-	-	-	4	-	-	1	35
神奈川県	-	-	-	-	-	38	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	2	5	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
静岡県	-	-	-	-	-	11	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	23	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
三重県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	3	11	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	2	22	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大阪府	-	-	-	-	2	56	-	21	-	-	-	-	-	1	-	-	1	27
兵庫県	-	-	-	-	-	13	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	22
奈良県	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
広島県	-	-	-	-	-	16	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8
山口県	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	-	15	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮崎県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
鹿児島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
沖縄県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年18週

	Q熱		狂犬病		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	7	-	-	-	3	-	31	-	15	-	275	-	1	1	46	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	15	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	-	2	-	1	-	125	-	-	-	26	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	1	-	3	-	-	-	34	-	-	-	4	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	10	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	5	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	14	-	-	1	5	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年18週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ボツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	3	-	-	-	-	2	59	-	9	-	1	-	-	-	-	5	165
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
東京都	-	1	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2



第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年18週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	13	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	30	-	-	1	26	
北海道	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	
東京都	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	4	
神奈川県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年18週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1954	0.42	228	0.08	1632	0.55	9219	3.09	3524	1.18	624	0.21	777	0.26	1177	0.39	22	0.01
北海道	147	0.64	8	0.06	106	0.73	204	1.41	155	1.07	3	0.02	20	0.14	47	0.32	-	-
青森県	23	0.36	1	0.02	14	0.34	56	1.37	28	0.68	6	0.15	6	0.15	12	0.29	-	-
岩手県	98	1.61	-	-	15	0.41	47	1.27	34	0.92	2	0.05	18	0.49	17	0.46	-	-
宮城県	93	0.96	2	0.03	34	0.58	222	3.76	69	1.17	-	-	24	0.41	28	0.47	-	-
秋田県	130	2.36	2	0.06	11	0.31	89	2.54	13	0.37	-	-	11	0.31	16	0.46	-	-
山形県	33	0.69	2	0.07	48	1.60	103	3.43	20	0.67	2	0.07	13	0.43	21	0.70	-	-
福島県	34	0.43	-	-	16	0.33	172	3.58	50	1.04	1	0.02	9	0.19	24	0.50	-	-
茨城県	6	0.05	1	0.01	29	0.40	187	2.56	52	0.71	1	0.01	8	0.11	17	0.23	3	0.04
栃木県	3	0.04	1	0.02	43	0.93	96	2.09	52	1.13	-	-	9	0.20	13	0.28	-	-
群馬県	6	0.06	3	0.05	66	1.06	146	2.35	72	1.16	-	-	16	0.26	17	0.27	1	0.02
埼玉県	66	0.27	7	0.05	112	0.74	498	3.30	185	1.23	9	0.06	95	0.63	54	0.36	1	0.01
千葉県	16	0.08	1	0.01	72	0.56	272	2.13	155	1.21	13	0.10	43	0.34	43	0.34	1	0.01
東京都	14	0.08	5	0.04	41	0.29	241	1.72	84	0.60	7	0.05	36	0.26	25	0.18	-	-
神奈川県	43	0.13	15	0.07	89	0.44	388	1.90	165	0.81	7	0.03	52	0.25	87	0.43	1	0.00
新潟県	59	0.60	13	0.22	100	1.67	331	5.52	56	0.93	6	0.10	3	0.05	22	0.37	-	-
富山県	98	2.04	1	0.03	19	0.66	140	4.83	18	0.62	1	0.03	4	0.14	11	0.38	-	-
石川県	15	0.31	2	0.07	19	0.66	278	9.59	33	1.14	2	0.07	14	0.48	17	0.59	2	0.07
福井県	8	0.25	1	0.05	19	0.86	114	5.18	54	2.45	2	0.09	8	0.36	10	0.45	-	-
山梨県	48	1.17	1	0.04	9	0.36	59	2.36	16	0.64	5	0.20	6	0.24	7	0.28	-	-
長野県	74	0.86	4	0.07	46	0.85	248	4.59	103	1.91	7	0.13	4	0.07	19	0.35	-	-
岐阜県	62	0.84	4	0.09	26	0.55	164	3.49	51	1.09	7	0.15	16	0.34	10	0.21	1	0.02
静岡県	50	0.36	8	0.09	47	0.55	276	3.21	151	1.76	9	0.10	28	0.33	36	0.42	-	-
愛知県	117	0.61	27	0.15	100	0.55	481	2.64	203	1.12	4	0.02	74	0.41	73	0.40	-	-
三重県	31	0.42	2	0.04	34	0.76	232	5.16	74	1.64	12	0.27	20	0.44	22	0.49	-	-
滋賀県	9	0.18	22	0.69	7	0.22	145	4.53	21	0.66	-	-	8	0.25	10	0.31	-	-
京都府	46	0.37	9	0.12	18	0.24	326	4.29	49	0.64	3	0.04	1	0.01	24	0.32	1	0.01
大阪府	30	0.10	8	0.04	63	0.32	544	2.80	173	0.89	8	0.04	19	0.10	63	0.32	3	0.02
兵庫県	47	0.24	12	0.09	45	0.35	554	4.33	122	0.95	34	0.27	22	0.17	69	0.54	-	-
奈良県	2	0.05	-	-	14	0.40	124	3.54	25	0.71	-	-	7	0.20	13	0.37	1	0.03
和歌山県	8	0.16	-	-	7	0.23	100	3.23	35	1.13	1	0.03	2	0.06	18	0.58	1	0.03
鳥取県	2	0.07	2	0.11	28	1.47	103	5.42	30	1.58	-	-	4	0.21	8	0.42	-	-
島根県	31	0.82	2	0.09	1	0.04	67	2.91	14	0.61	-	-	-	-	9	0.39	-	-
岡山県	26	0.31	3	0.06	27	0.50	199	3.69	67	1.24	-	-	2	0.04	7	0.13	-	-
広島県	21	0.26	7	0.14	61	1.20	246	4.82	127	2.49	5	0.10	19	0.37	31	0.61	1	0.02
山口県	27	0.39	21	0.43	29	0.59	141	2.88	48	0.98	38	0.78	20	0.41	39	0.80	1	0.02
徳島県	15	0.39	-	-	6	0.26	54	2.35	41	1.78	-	-	-	-	10	0.43	-	-
香川県	14	0.27	-	-	12	0.38	98	3.06	32	1.00	1	0.03	5	0.16	21	0.66	-	-
愛媛県	38	0.59	3	0.08	23	0.59	146	3.74	61	1.56	1	0.03	24	0.62	17	0.44	1	0.03
高知県	-	-	1	0.03	17	0.55	57	1.84	78	2.52	3	0.10	5	0.16	8	0.26	-	-
福岡県	85	0.52	1	0.01	42	0.40	249	2.37	154	1.47	98	0.93	23	0.22	47	0.45	1	0.01
佐賀県	11	0.28	2	0.09	20	0.87	47	2.04	57	2.48	21	0.91	5	0.22	20	0.87	1	0.04
長崎県	2	0.03	-	-	7	0.15	164	3.42	77	1.60	55	1.15	9	0.19	19	0.40	-	-
熊本県	23	0.28	9	0.18	19	0.39	160	3.27	110	2.24	101	2.06	19	0.39	26	0.53	-	-
大分県	41	0.71	1	0.03	11	0.31	190	5.28	48	1.33	49	1.36	6	0.17	13	0.36	1	0.03
宮崎県	36	0.60	10	0.27	28	0.76	232	6.27	79	2.14	67	1.81	31	0.84	23	0.62	-	-
鹿児島県	119	1.21	4	0.07	25	0.42	223	3.72	101	1.68	24	0.40	9	0.15	25	0.42	-	-
沖縄県	47	0.81	-	-	7	0.21	6	0.18	82	2.41	9	0.26	-	-	9	0.26	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年18週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	51	0.02	138	0.05	947	0.32	2817	0.94	14	0.02	449	0.72	2	0.00	4	0.01	13	0.03
北海道	2	0.01	-	-	84	0.58	114	0.79	-	-	12	0.41	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	4	0.10	28	0.68	-	-	8	0.73	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	2	0.05	7	0.19	-	-	8	0.67	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	2	0.03	9	0.15	10	0.17	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	21	0.60	12	0.34	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	33	1.10	-	-	5	0.63	-	-	-	-	-	-
福島県	2	0.04	2	0.04	31	0.65	22	0.46	1	0.08	7	0.58	-	-	-	-	-	-
茨城県	1	0.01	-	-	9	0.12	80	1.10	1	0.06	22	1.38	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	1	0.02	1	0.02	22	0.48	-	-	25	2.08	1	0.14	1	0.14	-	-
群馬県	2	0.03	2	0.03	11	0.18	42	0.68	-	-	21	1.50	-	-	-	-	-	-
埼玉県	2	0.01	6	0.04	18	0.12	186	1.23	-	-	23	0.68	-	-	-	-	1	0.11
千葉県	2	0.02	2	0.02	58	0.45	152	1.19	1	0.03	46	1.35	-	-	-	-	-	-
東京都	1	0.01	4	0.03	9	0.06	66	0.47	-	-	9	0.69	-	-	-	-	-	-
神奈川県	2	0.01	3	0.01	21	0.10	179	0.88	-	-	38	0.95	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	1	0.02	-	-	147	2.45	-	-	10	1.11	-	-	-	-	1	0.08
富山県	-	-	3	0.10	-	-	23	0.79	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.03	-	-	20	0.69	33	1.14	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	3	0.14	2	0.09	83	3.77	-	-	6	2.00	-	-	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	-	-	2	0.08	6	0.24	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	1	0.02	18	0.33	41	0.76	1	0.10	12	1.20	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	1	0.02	15	0.32	59	1.26	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	1	0.01	5	0.06	104	1.21	-	-	8	0.40	-	-	-	-	1	0.13
愛知県	1	0.01	10	0.05	59	0.32	184	1.01	-	-	33	0.94	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	2	0.04	67	1.49	-	-	4	0.33	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	-	-	-	-	2	0.06	16	0.50	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
京都府	1	0.01	1	0.01	8	0.11	68	0.89	-	-	1	0.06	-	-	-	-	-	-
大阪府	16	0.08	29	0.15	60	0.31	141	0.73	-	-	3	0.06	-	-	-	-	1	0.08
兵庫県	1	0.01	13	0.10	13	0.10	69	0.54	-	-	22	0.63	-	-	1	0.07	-	-
奈良県	-	-	1	0.03	13	0.37	34	0.97	-	-	2	0.22	-	-	-	-	-	-
和歌山県	1	0.03	2	0.06	2	0.06	17	0.55	-	-	-	-	-	-	1	0.09	-	-
鳥取県	-	-	-	-	1	0.05	8	0.42	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	1	0.04	2	0.09	11	0.48	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.02	2	0.04	8	0.15	15	0.28	1	0.08	8	0.67	-	-	-	-	-	-
広島県	3	0.06	6	0.12	70	1.37	67	1.31	2	0.17	15	1.25	1	0.07	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	9	0.18	43	0.88	-	-	3	0.33	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	6	0.26	-	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-
香川県	3	0.09	3	0.09	13	0.41	101	3.16	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	2	0.05	6	0.15	55	1.41	-	-	12	1.71	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	2	0.06	31	1.00	10	0.32	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
福岡県	2	0.02	10	0.10	60	0.57	151	1.44	-	-	5	0.21	-	-	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	3	0.13	4	0.17	52	2.26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	1	0.02	9	0.19	21	0.44	22	0.46	2	0.20	6	0.60	-	-	-	-	-	-
熊本県	2	0.04	7	0.14	71	1.45	77	1.57	-	-	18	2.00	-	-	-	-	6	0.40
大分県	2	0.06	2	0.06	65	1.81	55	1.53	-	-	-	-	-	-	1	0.10	-	-
宮崎県	1	0.03	-	-	34	0.92	40	1.08	1	0.25	16	4.00	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	1	0.02	16	0.27	31	0.52	4	0.67	4	0.67	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	2	0.06	37	1.09	28	0.82	-	-	12	1.20	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成13年18週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	32	0.07	4	0.01	21	0.05
北海道	1	0.04	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-
宮城県	3	0.25	3	0.25	1	0.08
秋田県	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	1	0.10
福島県	2	0.29	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	1	0.08	-	-	-	-
富山県	1	0.20	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	1	0.10	-	-	1	0.10
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.13	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	4	0.57	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	1	0.17
大阪府	4	0.33	-	-	1	0.08
兵庫県	-	-	1	0.07	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	2	0.18
鳥取県	2	0.40	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-
山口県	2	0.22	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	2	0.40	-	-	-	-
愛媛県	5	0.83	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	2	0.25
福岡県	-	-	-	-	3	0.20
佐賀県	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	3	0.20
大分県	2	0.20	-	-	1	0.10
宮崎県	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	3	0.43

感染症週報 第3巻、第17・18合併号 平成13年5月18日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生労働省健康局結核感染症課  
 厚生労働省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129  
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
 <厚生労働省>  
<http://www.forth.go.jp/>  
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。